

科目名	Expression A(1) VT(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 浦田 吉田華奈 田原佑一朗 小林香央里 城山恵利 榎畑孝一 横山美由
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICOSが主催するJASRA認定メンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声メソッドの説明、課題曲提示	発声練習及び課題曲練習
2	5月26日	講義・演習	外化、姿勢呼吸、低音、イーストレッチのレクチャー、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
3	6月2日	講義・演習	外化、発声指導、共鳴レクチャー、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
4	6月9日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	6月16日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	6月23日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	6月30日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	7月7日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	7月14日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	7月21日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	7月28日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	8月4日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	8月18日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	8月25日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月1日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習		発声練習及び課題曲練習		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(1) Gt Melodic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Brainsout, イガバンBBなどでの活動の他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	ソロ／メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール／アルペジオ・エクササイズなどを実践。						
到達目標	メジャースケール、マイナースケール、ペントニック(メジャー／マイナー)の構造、ポジションを覚え、複数のキーで、一定のテンポで弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	トレーニングメニューを作成する。 パターン練習実践1。	メジャースケールを予習
2	6月5日	講義・演習	ピッキング3種類を覚える。 パターン練習実践2。	自分のトレーニングメニューを作成
3	6月12日	講義・演習	メジャースケールパターン2を覚える。 上行下行パターンを弾く。	オルタナイト・ピッキングで練習する時間を作る。
4	6月19日	講義・演習	メジャースケールパターン3を覚える。 3連パターンを弾く。	スケールの復習、 練習メニューの見直し。
5	6月26日	講義・演習	メジャースケールパターン4を覚える。 4連パターンを弾く。	スケールの復習。 指板上のポジション確認。
6	7月3日	講義・演習	メジャースケールパターン5を覚える。 3度パターンの理解と練習を行う。	スケールの復習。 指板上のポジション確認。
7	7月10日	講義・演習	メジャースケールパターン6を覚える。 4度パターンの理解と上行下行練習を行う。	スケールの復習。 指板上のポジション確認。
8	7月31日	講義・演習	メジャースケールパターン7を覚える。 1-2-4パターンの理解と上下行練習を行う。	スケールの復習。 指板上のポジション確認。
9	8月21日	講義・演習	ペントニック・パターン1を覚える。 3連での上下行パターンを弾く。	ペントニックのポジション確認
10	8月28日	講義・演習	ペントニック・パターン2を覚える。 4連での上下行パターンを弾く。	ペントニックのポジション確認
11	9月4日	講義・演習	ペントニック・パターン3を覚える。 HO上行、PO下行フレーズを弾く。	ペントニックのポジション確認
12	9月11日	講義・演習	ペントニック・パターン4を覚える。 チョーキングを含むフレーズを弾く。	ペントニックのポジション確認
13	9月18日	講義・演習	ペントニック・パターン5を覚える。 12小節ブルース、バンプでフレーズを弾く。	ペントニックのポジション確認
14	9月25日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	前期の振り返り(D16:G20)
15	10月2日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	前期で学んだ授業内容を振り返り、予習と復習を行う
準備学習 時間外学習			授業内容を予習・復習し、実際にギターを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Expression A(1) Bass Line Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	河野充生
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習 内容	将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し演奏できるようにするための講義実習を行う。						
到達目標	1、指板の構造とフレット上の音名を全て把握出来るようになること。 2、メジャースケールの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 3、コードの概念を理解し、構成音を把握しながら演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	右手左手のフォームを確認し、スムーズな演奏法を習得する。	チャプター内のエクササイズの復習
2	5月29日	講義・演習	譜面上の主な記号、指板上の音名を理解できる。	チャプター内のエクササイズの復習
3	6月5日	講義・演習	コードネームについて理解し、そのルートを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
4	6月12日	講義・演習	度数や音程について、メジャースケールの構造について理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
5	6月19日	講義・演習	#keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
6	6月26日	講義・演習	b keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
7	7月3日	講義・演習	ファーストポジションの重要性、2オクターブの音域の重要性を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
8	7月10日	講義・演習	全てのキーのメジャーペンタトニックスケールを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
9	7月17日	講義・演習	メジャーペンタトニックスケールの5つのポジションを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
10	7月31日	講義・演習	トライアドの成り立ちとメジャーキーのダイアトニックトライアドを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
11	8月7日	講義・演習	7thコードの成り立ちとメジャーキーのダイアトニック7thコードを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
12	8月21日	講義・演習	ナチュラルマイナースケールの構造を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
13	8月28日	講義・演習	前期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習
14	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習		教科書を用いて読譜をし、授業準備を行う。日常的にベースを演奏し、授業内容の復習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				
ベースラインコンセプト教科書				

科目名	Expression A(1) Key Play Tech(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋 剛
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1990年からミュージシャンの仕事始める。2004年からTSMにてシンセサイザー指導を行う。						
授業の学習 内容	スケール等の基礎練習。シンセサイザーの基本と音作りの流れを解説・実習する。同時に、理論の導入も行う。						
到達目標	練習の場ではなく、レコーディングやライブ本番で使える技能を身につける。また、腱鞘炎にならない弾き方を理解する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	個々の技量確認。課題曲1を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
2	5月25日	講義・演習	課題曲1の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
3	6月1日	講義・演習	課題曲1の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
4	6月8日	講義・演習	課題曲1の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
5	6月15日	講義・演習	課題曲2を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
6	6月22日	講義・演習	課題曲2の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
7	6月29日	講義・演習	課題曲2の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
8	7月6日	講義・演習	課題曲2の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
9	7月13日	講義・演習	課題曲3を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
10	7月20日	講義・演習	課題曲3の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
11	7月27日	講義・演習	課題曲3の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
12	8月3日	講義・演習	前期課題曲を使つての実技試験。	前期内容の復習。
13	8月17日	講義・演習	前期まとめ。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
14	8月24日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
15	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
準備学習 時間外学習			課題曲のアナライズを事前に行い、キーボード練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(2) VT(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 浦田 吉田華奈 田原佑一朗 小林香央里 城山恵利 榎畑孝一 横山美由
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICOSが主催するJASRA認定メンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	10月13日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	10月20日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	11月10日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	11月17日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	11月24日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	12月1日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	12月8日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	12月15日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	12月22日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、冬休みの課題チェック	発声練習及び課題曲練習
11	1月12日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
12	1月19日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
13	1月26日	講義・演習	卒業に向けてカウンセリング(個人面談なども有)、発声チェック、発表会の曲チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			発声練習及び課題曲練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(2) Gt Melodic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	廣瀬昌明
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	Brainsout、イガバンBBなどでの活動の他、アーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	ソロ／メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール／アルペジオ・エクササイズなどを実践						
到達目標	モードスケールの構造を理解し、各スケールのポジションを覚え、一定のテンポで弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	
2	10月16日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	
3	10月23日	講義・演習	アイオニアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	maj7バンプ進行で練習
4	11月6日	講義・演習	ドリアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	m7バンプ進行で練習
5	11月13日	講義・演習	フリジアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	m7バンプ進行で練習
6	11月20日	講義・演習	リディアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	maj7#11バンプ進行で練習
7	11月27日	講義・演習	ミクソリディアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	dom7バンプ進行で練習
8	12月4日	講義・演習	エオリアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	m7バンプ進行で練習
9	12月11日	講義・演習	ロクリアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	m7b5バンプ進行で練習
10	12月18日	講義・演習	maj7/minor7/m7b5/dom7の 4種類のアルペジオを弾く	ポジション固定で アルペジオの切り替えを練習
11	1月8日	講義・演習	ディミニッシュスケール構造を理解し、 ポジションを覚える。	dim7バンプ進行で練習
12	1月15日	講義・演習	ホールトーンスケール構造を理解し、 ポジションを覚える。	II7b5バンプ進行で練習
13	1月22日	講義・演習	ハーモニックマイナー 構造を理解しポジションを覚える。	minor-major7バンプ進行で練習
14	1月29日	講義・演習	メロディックマイナーの 構造を理解しポジションを覚える。	minor-major7バンプ進行で練習
15	2月12日	講義・演習	オルタードスケール構造を理解し、 ポジションを覚える。	dom7b9,dom7#9バンプ進行で練習
準備学習 時間外学習		授業内容を予習・復習し、実際にギターを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)		
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Expression A(2) Bass Line Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	河野充生
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習 内容	将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し演奏できるようにするための講義実習を行う。						
到達目標	1、指板の構造とフレット上の音名を全て把握出来るようになること。 2、メジャースケールの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 3、コードの概念を理解し、構成音を把握しながら演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
2	10月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
3	11月6日	講義・演習	マイナーキーのダイアトニックコードについて理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
4	11月13日	講義・演習	ブルーノートの構造を理解し、そのフレージングを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
5	11月20日	講義・演習	様々なブルースのコード進行を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
6	11月27日	講義・演習	これまでの総復習のエクササイズを行い、理解を定着させる。	チャプター内のエクササイズの復習
7	12月4日	講義・演習	メジャーキーのコードスケールを理解し、全てのキーで演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
8	12月11日	講義・演習	メジャーキーのコード進行に対して、アルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
9	12月18日	講義・演習	分数コードの成り立ちを理解し、その機能を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
10	1月8日	講義・演習	ベースラインの成り立ちとアプローチノートについて理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
11	1月15日	講義・演習	クロマチックアプローチとその分析について理解し、実践出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
12	1月22日	講義・演習	マイナーキーのコードスケールを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
13	1月29日	講義・演習	マイナーキーのコード進行にアルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
14	2月12日	講義・演習	マイナーキーのコード進行にアルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
15	2月19日	講義・演習	後期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習
準備学習 時間外学習		教科書を用いて読譜をし、授業準備を行う。日常的にベースを演奏し、授業内容の復習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				
ベースラインコンセプト教科書				

科目名	Expression A(2) Key Play Tech(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋 剛
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	1990年からミュージシャンの仕事始める。2004年からTSMにてシンセサイザー指導を行う。						
授業の学習 内容	様々な音色を使い、楽曲に彩りを持たせるための手法を解説・実習する。						
到達目標	作編曲につながる技能を習得する。2年次へ向けて難易度を上げた楽曲に対応できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
2	10月12日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
3	10月19日	講義・演習	課題曲4を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
4	11月9日	講義・演習	課題曲4の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
5	11月16日	講義・演習	課題曲4の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
6	11月23日	講義・演習	課題曲5を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
7	11月30日	講義・演習	課題曲5の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
8	12月7日	講義・演習	課題曲5の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
9	12月14日	講義・演習	課題曲6を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
10	12月21日	講義・演習	課題曲6の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
11	1月18日	講義・演習	課題曲6の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
12	1月25日	講義・演習	後期課題曲を使つての実技試験。	後期内容の復習。
13	2月1日	講義・演習	課題曲7を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
14	2月8日	講義・演習	課題曲7の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
15	2月15日	講義・演習	後期まとめ。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
準備学習 時間外学習		課題曲のアナライズを事前に行い、キーボード練習をする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression B(1) Vocal Reading(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	三浦侑美 城山恵利
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なレコーディング、イベント等に出演。						
授業の学習 内容	よりシンガーに特化したリズムトレーニング、メロディー歌唱、聴音を行う。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいリズムとメロディーを理解し歌うことができる。 ・いくつかのスケールを歌うことができる。 ・簡単なリズムとメロディーを聴きとり譜面に起こす事が出来る。 ・簡単なコードの聴き分けができる。 ・アカペラでアンサンブルすることができる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	授業の説明、自己紹介 音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを歌う。	ワークシートを用いて予習・復習
2	5月25日	講義・演習	リズム→全音符、2分、4分(休符も同様)で正しく歌う。 メロディー歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う。	ワークシートを用いて予習・復習
3	6月1日	講義・演習	リズム→8分を歌う。 メロディー歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う。	ワークシートを用いて予習・復習
4	6月8日	講義・演習	リズム→16分を歌う。簡単なリズムとメロディーを聴き取り。 メロディー歌唱→4分音符のメロディーC～Cまでを歌う。	ワークシートを用いて予習・復習
5	6月15日	講義・演習	リズム→4/2拍子を学ぶ。16分を歌う。 簡単なリズムとメロディーを聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
6	6月22日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。 簡単なリズムとメロディーを聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
7	6月29日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。 簡単なリズムとメロディーの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
8	7月6日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。 簡単なリズムとメロディーの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
9	7月13日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。 簡単なリズムとメロディーの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
10	7月20日	講義・演習	リズム→タイや、16分休符を入れたリズムを歌う。 簡単なリズムとメロディーの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
11	7月27日	講義・演習	リズム→タイや、16分休符を入れたリズムを歌う。 簡単なリズムとメロディーの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
12	8月3日	講義・演習	前期テスト範囲発表。前期の総復習。	ワークシートを用いて予習・復習
13	8月17日	講義・演習	前期テスト範囲の復習。アカペラアンサンブルパート決め。	ワークシートを用いて予習・復習
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ。	イベント課題曲のアナライズ
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ。	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習		ワークシートを用いて予習・復習		
【使用教科書・教材・参考書】				
Ear Training1 Workbook				

科目名	Expression B(1) Gt Harmonic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	安東滋
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	TSM(前身のTGA含む)での実務歴25年。Harmonic Conceptの担当歴10年。						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代を生きる全ギタリストの必須スキルのひとつです。 ・本授業では、その土台を形成するための基本的なトライアド・フォームの習得と、それを用いた実践的なエクササイズを並行させ、基礎的なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていきます。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・CAGEDシステムを用いてトライアド・フォームを習得する ・ギタリストの目線でコード・ボイスングを体系的に学ぶ ・コード・フォーム(ボイスング)を自分で組み立てられることを目指す 						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	CAGEDシステムを用いた基本フォームの習得 開放ボ ジションの基本フォームを学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
2	5月25日	講義・演習	E型とA型のフォーム移動を学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
3	6月1日	講義・演習	C型とG型のフォーム移動を学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
4	6月8日	講義・演習	D型のフォーム移動を学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
5	6月15日	講義・演習	各フォームの構成音を理解する	各フォームを定着させるための予習と復習
6	6月22日	講義・演習	各フォームの構成音を理解する	各フォームを定着させるための予習と復習
7	6月29日	講義・演習	スモール・コードの考察と実践	各フォームを定着させるための予習と復習
8	7月6日	講義・演習	分数コードを含むコード展開を学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
9	7月13日	講義・演習	トライアドの変化型=sus4を学ぶ	各フォームを定着させるための予習と復習
10	7月20日	講義・演習	トライアドの変化型=dimを学ぶ	各フォームを定着させるための予習と復習
11	7月27日	講義・演習	トライアドの変化型=augを学ぶ	各フォームを定着させるための予習と復習
12	8月3日	講義・演習	ダイアトニック進行への実践アプローチ	各フォームを定着させるための予習と復習
13	8月17日	講義・演習	試験週	前期で学んだ全コード・フォームの復習
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			リズム感&タイム感の修練、グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ	
【使用教科書・教材・参考書】				
H.C.1教科書、補足教材適宜				

科目名	Expression B(1) Dr Groove Making(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	奥出矢
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	ドラムテクニック系のクラスを長く担当する。滋慶グループ全校統一テキストも作成している。						
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーブの抽出とアナライズをテーマとする演習を行う。テキストに沿った各種トレーニングと並行して、アンサンブルスタンス、パルスイメージ、サウンドスケープ、リズムトレーニング等の内容も積み重ねていく多角的な演習内容になる。						
到達目標	ワールドスタンダードなリズムフィールを習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に於いて、タイム感の重要性を理解しグルーブに対する「気付き」が生まれる事を目標とする。						
評価方法及び基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	課題曲1を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に付ける	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~3)
2	5月25日	講義・演習	楽器構造(ドラムセット)と特有な記譜法の理解。 8ビートとその歴史的背景を知る	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~3)
3	6月1日	講義・演習	8ビートにおけるキックバリエーションの実践。 スネアバックビートに関する理解。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~3)
4	6月8日	講義・演習	8ビートにおける4Wayトレーニングの実践。 メトロノームを使用した練習の紹介。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~3)
5	6月15日	講義・演習	ハイハットワークの実践。 ドラムの役割(アンサンブルスタンス)を理解する。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~4)
6	6月22日	講義・演習	Aブロックフォーム(片手16)での16ビートの実践。 ゴーストモーションに関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~3)
7	6月29日	講義・演習	セットオーケストレーション:移動モーションの理解と実践。 フィルインに関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~4)
8	7月6日	講義・演習	Bブロックフォーム(両手16)での16ビートの実践。 リード感覚に関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~4)
9	7月13日	講義・演習	Bブロックフォームでのグルーブメイクのチェック; パルスイメージの理解と実践。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~7)
10	7月20日	講義・演習	Cブロックフォーム(ミックス)での16ビートの実践。 ゴーストノートに関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~4)
11	7月27日	講義・演習	Cブロックフォームでのグルーブメイク; マイナスワン音源を使用したトレーニングの実施	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~5)
12	8月3日	講義・演習	シャッフルビートの習得。 リズム構造の理解とフィールの実践。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~4)
13	8月17日	講義・演習	3連符に包括されたシャッフルフィールの実践。 ゴーストノートのコントロール。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~3)
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサル消化と自己解析
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサル消化と自己解析
準備学習 時間外学習			テキストではチャプター内で扱ったメインテーマの内容をより精度を高めるために、ステップ方式のブラクティスを載せている	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版オリジナルテキスト「DRUM GROOVE MAKING」				

科目名	Expression B(1) Key Harmonic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして28年、指導歴19年						
授業の学習 内容	キーボード演奏テクニックと知識(ハーモニー、リズム、スケール、音色)、ジャンルの音楽言語学び、それらを音楽的に表現するための考え方、応用カスキルを身につけるための授業。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各ジャンルの核を勉強するために必要な要点を理解し、実践できるようになる。 ・基礎知識、スケール、コードを理解し、演奏できるようになる。 ・ハーモニーアレンジの考え方、バックビートリズム、グルーブについて学び、研究し、実践(アンサンブル)に活かせるようになる。 ・これらの知識から、アドリブを取れるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	楽器の基礎知識、基礎トレ方法を学ぶ	譜面、コードについて予習、復習をする
2	5月27日	講義・演習	メジャーダイアトニックコード、転回形コードワークについて	譜面、コードについて予習、復習をする
3	6月3日	講義・演習	マイナーダイアトニックコード、転回形コードワークについて	譜面、コードについて予習、復習をする
4	6月10日	講義・演習	曲①、8分バックビート、グルーブ、フレーズ	譜面、コードについて予習、復習をする
5	6月17日	講義・演習	曲①応用	譜面、コードについて予習、復習をする
6	6月24日	講義・演習	曲②Shuffle、グルーブ、テーマ	譜面、コードについて予習、復習をする
7	7月1日	講義・演習	曲②インプロテクニック、アドリブ	譜面、コードについて予習、復習をする
8	7月8日	講義・演習	曲③Swing、グルーブ、テーマ	譜面、コードについて予習、復習をする
9	7月15日	講義・演習	Jazz Blues2 コードワーク、Organ Bass line	譜面、コードについて予習、復習をする
10	7月22日	講義・演習	曲④116分バックビート、グルーブ、ハーモニー	譜面、コードについて予習、復習をする
11	7月29日	講義・演習	曲④シンセ、Strings、Brass、Edit	譜面、コードについて予習、復習をする
12	8月5日	講義・演習	曲④アドリブ、コードアレンジ考え方	譜面、コードについて予習、復習をする
13	8月19日	講義・演習	演奏、筆記	まとめ、後期に向けて準備をする事(課題)
14	8月26日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
15	9月2日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント				

科目名	Expression B(2) Vocal Reading(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 三浦侑美 城山恵利
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なレコーディング、イベント等に出演。					
授業の学習 内容	よりシンガーに特化したリズムトレーニング、メロディー歌唱、聴音を行う。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいリズムとメロディーを理解し歌うことが出来る。 ・いくつかのスケールを歌うことが出来る。 ・簡単なリズムとメロディーを聴きとり譜面に起こす事が出来る。 ・簡単なコードの聴き分けが出来る。 ・アカペラでアンサンブルすることが出来る。 					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
2	10月16日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
3	10月23日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
4	11月6日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
5	11月13日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
6	11月20日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
7	11月27日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
8	12月4日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
9	12月11日	講義・演習	リズム→今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
10	12月18日	講義・演習	後期テスト範囲発表。復習。アカペラアンサンブル練習。	ワークシートを用いて予習・復習
11	1月8日	講義・演習	アカペラアンサンブル練習。聴音。創作リズムなど。メロディー進められるところまで。	ワークシートを用いて予習・復習
12	1月15日	講義・演習	アカペラアンサンブル練習。聴音。創作リズムなど。メロディー進められるところまで。	ワークシートを用いて予習・復習
13	1月22日	講義・演習	アカペラアンサンブル練習。聴音。創作リズムなど。メロディー進められるところまで。	ワークシートを用いて予習・復習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ。	イベント課題曲のアナライズ
15	2月12日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ。	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いて予習・復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
Ear Training1 Workbook				

科目名	Expression B(2) Gt Harmonic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	安東滋
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TSM(前身のTCA含む)での実務歴25年。Harmonic Conceptの担当歴10年。						
授業の学習 内容	多種多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代を生きる全ギタリストの必須スキルのひとつです。本授業では、その土台を形成するための基本的な7thフォームの習得と、それを用いたエクササイズを並行させ、実践的なコード・ワークを構築するためのスキルとノウハウを積み重ねていきます。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各種7thコードの習得と様々なプレイ・アプローチ ・ギタリストの目線でコード・ボイスングを体系的に学ぶ ・コード・フォーム(ボイスング)を自分で組み立てられることを目指す 						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	各種7thコードの仕組みを知る	各フォームを定着させるための予習と復習
2	10月12日	講義・演習	開放ポジションでの実践コード・ワーク	各フォームを定着させるための予習と復習
3	10月19日	講義・演習	押弦フォームの習得と実践(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
4	11月9日	講義・演習	押弦フォームの習得と実践(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
5	11月16日	講義・演習	押弦フォームの習得と実践(3)	各フォームを定着させるための予習と復習
6	11月23日	講義・演習	minor7th(b5)への対応	各フォームを定着させるための予習と復習
7	11月30日	講義・演習	dim7thへの対応	各フォームを定着させるための予習と復習
8	12月7日	講義・演習	高音弦側で弾く4声フォームを学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
9	12月14日	講義・演習	3音構成のB.C.S.を学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
10	12月21日	講義・演習	7thコードを含む課題曲での実践(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
11	1月18日	講義・演習	7thコードを含む課題曲での実践(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
12	1月25日	講義・演習	7thコードを含む課題曲での実践(3)	各フォームを定着させるための予習と復習
13	2月1日	講義・演習	試験週	後期で学んだ全コード・フォームの復習
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			リズム感&タイム感の修練、グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ	
【使用教科書・教材・参考書】				
H.C.1教科書、補足教材適宜				

科目名	Expression B(2) Dr Groove Making(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	奥出矢
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ドラムテクニック系のクラスを長く担当する。滋慶グループ全校統一テキストも作成している。						
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズをテーマとする演習を行う。テキストに沿った各種トレーニングと並行して、アンサンブルスタンス、パルスイメージ、サウンドスケープ、リズムトレーニング等の内容も積み重ねていく多角的な演習内容になる。						
到達目標	ワールドスタンダードなリズムフィールを習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に於いて、タイム感の重要性を理解しグルーヴに対する「気付き」が生まれる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	トリプレットフィールの習得。3連符を構成要素とするリズムの理解と実践。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3)
2	10月12日	講義・演習	バウンスフィールの実践(Rock,Funk,Jazz)	Chapter15やサブテキストからのサンプルを解析する
3	10月19日	講義・演習	ハネた16ビートの実践。 拍内のリズム構造の理解とバウンスフィールの考察。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4)
4	11月9日	講義・演習	ハネた16ビートの実践。 キックパターンのバリエーションによるフィールの構築	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3)
5	11月16日	講義・演習	6連符に包括されたハネ系16ビートの実践。 ゴーストノートのコントロール。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~4)
6	11月23日	講義・演習	ハネ方の度合いに関する考察。 バウンスポイントの把握とハネ率の実践。	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~2)
7	11月30日	講義・演習	チャートリーディングを伴う8ビートの実践。 課題曲(Chapter20)の解析。	関連課題曲の抽出と研究(8ビート)
8	12月7日	講義・演習	チャートリーディングを伴う8ビートの実践。 課題曲(Chapter21)の解析。	関連課題曲の抽出と研究(8ビート)
9	12月14日	講義・演習	チャートリーディングを伴う16ビートの実践。 課題曲(Chapter22)の解析。	関連課題曲の抽出と研究(16ビート)
10	12月21日	講義・演習	チャートリーディングを伴う16ビートの実践。 課題曲(Chapter23)の解析。	関連課題曲の抽出と研究(16ビート)
11	1月18日	講義・演習	チャートリーディングを伴う16ビートの実践。 課題曲(Chapter24)の解析。	関連課題曲の抽出と研究(16ビート)
12	1月25日	講義・演習	シャッフルビートの実践。課題曲(Chapter25)の解析。	関連課題曲の抽出と研究(シャッフル)
13	2月1日	講義・演習	1年次のまとめ。蓄積したテクニックと表現力についての考察。	振り返りとしての総復習
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
準備学習 時間外学習			テキストではチャプター内で扱ったメインテーマの内容をより精度を高めるために、ステップ方式のプラクティスを載せている	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版オリジナルテキスト「DRUM GROOVE MAKING」				

科目名	Expression B(2) Key Harmonic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして28年、指導歴19年						
授業の学習 内容	キーボード演奏テクニックと知識(ハーモニー、リズム、スケール、音色)、ジャンルの音楽言語学び、それらを音楽的に表現するための考え方、応用カスキルを身につけるための授業。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各ジャンルの核を勉強するために必要な要点を理解し、実践できるようになる ・基礎知識、スケール、コードを理解し、演奏できるようになる ・ハーモニーアレンジの考え方、バックビートリズム、グルーブについて学び、研究し、実践(アンサンブル)に活かせるようになる ・これらの知識から、アドリブを取れるようになる 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
2	10月14日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
3	10月21日	講義・演習	課題発表、アドバイス	譜面、コードについて予習、復習をする
4	11月11日	講義・演習	曲①Soul ハーモニー、グルーブ	譜面、コードについて予習、復習をする
5	11月18日	講義・演習	曲①応用	譜面、コードについて予習、復習をする
6	11月25日	講義・演習	曲②ハーモニー、オブリガード	譜面、コードについて予習、復習をする
7	12月2日	講義・演習	曲②popsアレンジについて(パート)	譜面、コードについて予習、復習をする
8	12月9日	講義・演習	シンセリードを使用したアプローチ	譜面、コードについて予習、復習をする
9	12月16日	講義・演習	バンドについて	譜面、コードについて予習、復習をする
10	1月6日	講義・演習	曲③クラピネットリフ、グルーブ	譜面、コードについて予習、復習をする
11	1月13日	講義・演習	曲③アドリブ	譜面、コードについて予習、復習をする
12	1月20日	講義・演習	曲③アレンジ	譜面、コードについて予習、復習をする
13	1月27日	講義・演習	バラード ピアノイントロ、エンディング	譜面、コードについて予習、復習をする
14	2月10日	講義・演習	編曲について	譜面、コードについて予習、復習をする
15	2月17日	講義・演習	演奏、筆記	まとめ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント				

科目名	K-POP Vocal (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	Jae
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	dig.zボイトレ講師、superfantasyのボイトレ講師、SDR所属super★dragon (Vocal direction)						
授業の学習 内容	①どの音域でも自由に自分が表現したいものを表現できるような発声法や曲のスタイリングを学ぶ ②発声、ボーカルのスタイリング ③学生各自、楽に歌の表現ができない原因(癖)を各自違うアドバイスで修正する。 SLS発声法をもとに発声を教えることとK-POP歌手の曲でどういう考えで曲を生かしてレコーディングを行なったのかを教育する						
到達目標	①ネイティブに近い発音でk-popの曲が歌えるようになる、低音から高音まで音域を広げる ②ポイントは歌唱実技で決める ③k-popの曲をネイティブで歌える						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	歌唱テスト	それぞれの問題点を直してくる・録音提出
2	5月25日	講義・演習	呼吸、リップロール	練習用の音源をデータで渡して各自練習
3	6月1日	講義・演習	呼吸、リップロール	練習用の音源をデータで渡して各自練習
4	6月8日	講義・演習	発音による筋肉の使い方	Nay,mum,noh,goo,googスケール練習
5	6月15日	講義・演習	発音による筋肉の使い方	Nay,mum,noh,goo,googスケール練習
6	6月22日	講義・演習	K-POP曲完コピ	韓国語発音を正確にする練習
7	6月29日	講義・演習	K-POP曲完コピ	レコーディングの時のディテール技術を練習
8	7月6日	講義・演習	洋楽曲完コピ	発音を正確にする練習
9	7月13日	講義・演習	洋楽曲完コピ	レコーディングの時のディテール技術を練習
10	7月20日	講義・演習	歌唱テスト	学んだ2曲をテスト(完コピしたのを身につけてくる)
11	7月27日	講義・演習	歌唱テスト	学んだ3曲をテスト(完コピしたのを身につけてくる)
12	8月3日	講義・演習	復習	前期学んだ内容の復習
13	8月17日	講義・演習	復習	前期学んだ内容の復習
14	8月24日	講義・演習	イベント実践を通してK-POPを学ぶ	楽曲の練習を一日最低2時間練習する
15	8月31日	講義・演習	イベント実践を通してK-POPを学ぶ	楽曲の練習を一日最低3時間練習する
準備学習 時間外学習		発声練習用の音源データをそれぞれ聴きながら、発声の練習をする・完コピする方法を教える		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP Vocal (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	Jae
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	dig.zボイトレ講師、superfantasyのボイトレ講師、SDR所属super★dragon (Vocal direction)						
授業の学習 内容	①どの音域でも自由に自分が表現したいものを表現できるような発声法や曲のスタイリングを学ぶ ②発声、ボーカルのスタイリング ③学生各自、楽に歌の表現ができない原因(癖)を各自違うアドバイスで修正する。 SLS発声法をもとに発声を教えることとK-POP歌手の曲でどう考えるか曲を生かしてレコーディングを行なったのかを教育する						
到達目標	①ネイティブに近い発音でk-popの曲が歌えるようになる、低音から高音まで音域を広げる ②ポイントは歌唱実技で決める ③k-popの曲をネイティブで歌える						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	K-POPとJ-POPの違い①課題曲発表	K-POP参考曲を聞き予習してくる
2	10月12日	講義・演習	K-POPとJ-POPの違い②発表	K-POP参考曲を聞き予習・復習
3	10月19日	講義・演習	ワールドミュージックから見るK-POP①	楽曲を聞き練習をする・先週の復習
4	11月9日	講義・演習	ワールドミュージックから見るK-POP②	楽曲を聞き練習をする・先週の復習
5	11月16日	講義・演習	ワールドミュージックから見るK-POP③	楽曲を聞き練習をする・先週の復習
6	11月23日	講義・演習	課題曲解説・レッスン	課題曲の日本語訳を作成・復習
7	11月30日	講義・演習	個別レッスン	カラオケ音源に合わせて一日最低2時間練習
8	12月7日	講義・演習	発表	楽曲の復習
9	12月14日	講義・演習	個別レッスン	楽曲の復習
10	12月21日	講義・演習	発表	楽曲の復習
11	1月18日	講義・演習	課題曲の発表・解説	カラオケ音源に合わせて一日最低2時間練習
12	1月25日	講義・演習	発表	カラオケ音源に合わせて一日最低2時間練習
13	2月1日	講義・演習	定期試験	学んだ内容の復習
14	2月8日	講義・演習	イベント実践を通してK-POPを学ぶ	楽曲の練習を一日最低3時間練習する
15	2月15日	講義・演習	イベント実践を通してK-POPを学ぶ	楽曲の練習を一日最低3時間練習する
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Diction(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	城山恵利
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとしてauのCM等、数多くのレコーディングを担当						
授業の学習 内容	英語の発音向上及び、表現力の向上。						
到達目標	正しい英語の発音を理解し、歌の中で活かせる。感情表現することへの恐れをなくし、感情を顔や体で表現し、歌の中で活かせる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	授業内容、趣旨説明、カウンセリング	ワークシートを用いて予習復習
2	10月16日	講義・演習	英語の発音、母音レクチャー、表現指導	ワークシートを用いて予習復習
3	10月23日	講義・演習	英語の発音、母音レクチャー、表現指導	ワークシートを用いて予習復習
4	11月6日	講義・演習	英語の発音、母音レクチャー、表現指導	ワークシートを用いて予習復習
5	11月13日	講義・演習	英語の発音、母音レクチャー、表現指導	ワークシートを用いて予習復習
6	11月20日	講義・演習	英語の発音、課題曲内での発音チェック、表現指導	ワークシートを用いて予習復習
7	11月27日	講義・演習	英語の発音、課題曲内での発音チェック、表現指導	ワークシートを用いて予習復習
8	12月4日	講義・演習	英語の発音、課題曲内での発音チェック、表現指導	ワークシートを用いて予習復習
9	12月11日	講義・演習	冬休み課題チェック、英語の発音、課題曲内での発音チェック、表現指導	ワークシートを用いて予習復習
10	12月18日	講義・演習	英語の発音、課題曲内での発音チェック、表現指導	ワークシートを用いて予習復習
11	1月8日	講義・演習	英語の発音、課題曲内での発音チェック、表現指導	ワークシートを用いて予習復習
12	1月15日	講義・演習	英語の発音、課題曲内での発音チェック、表現指導	ワークシートを用いて予習復習
13	1月22日	講義・演習	英語の発音、課題曲内での発音チェック、表現指導	ワークシートを用いて予習復習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月12日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いて予習復習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance For Singers(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	AI
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	様々なアーティストの振り付け指導や、バックダンサーとして活躍。講師歴8年。						
授業の学習 内容	リズムをとる、カッコよく歩く、ポージングを決めたりと、歌を歌いながら自然に出来る様になる為に基礎から勉強していく。						
到達目標	リズム、動きを取り入れ確実に歌いきれるスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	授業の進め方の説明。目標の確認	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
2	5月29日	講義・演習	ストレッチ、筋トレを取り入れしなやかな体づくり開始	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
3	6月5日	講義・演習	ウォーキングレッスンの説明。実践	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	6月12日	講義・演習	ウォーキングレッスン	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	6月19日	講義・演習	課題曲に合わせてウォーキングの練習	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	6月26日	講義・演習	ポージングレッスンの説明。実践	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	7月3日	講義・演習	ポージングレッスン	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	7月10日	講義・演習	課題曲に合わせてポージングの練習	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	7月17日	講義・演習	各自課題曲選び	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	7月31日	講義・演習	課題曲にウォーキング、ポージングを取り入れ1曲制作	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	8月7日	講義・演習	10週目の続き	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	8月21日	講義・演習	試験準備	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	8月28日	講義・演習	定期試験	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	イベント実践を通してダンスを学ぶ
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでJAZZを観る、知る、触れる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance For Singers(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	AI
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	様々なアーティストの振り付け指導や、バックダンサーとして活躍。講師歴8年。						
授業の学習 内容	リズムをとる、カッコよく歩く、ポージングを決めたりと、歌を歌いながら自然に出来る様になる為に基礎から勉強していく。						
到達目標	リズム、動きを取り入れ確実に歌いきれるスキルを身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
2	10月16日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
3	11月6日	講義・演習	後期授業の進め方の説明。目標の再確認。	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	11月13日	講義・演習	前期同様ストレッチ、筋トレを取り入れしなやかな体づくり開始	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	11月20日	講義・演習	リズム取りレッスンの説明。実践	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	11月27日	講義・演習	リズム取りレッスン	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	12月4日	講義・演習	課題曲に合わせてリズム取りの練習	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	12月11日	講義・演習	手を使ったりと表現力を出し方の説明・実践	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	12月18日	講義・演習	表現力のレッスン	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	1月8日	講義・演習	課題曲に合わせて表現力の練習	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	1月15日	講義・演習	各自課題曲選び	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	1月22日	講義・演習	課題曲に学習した全てを取り入れ1曲制作	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	1月29日	講義・演習	10週目の続き	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	2月12日	講義・演習	試験準備	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
15	2月19日	講義・演習	定期試験	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでJAZZを観る、知る、触れる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Piano Duo A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林香央 里 加藤エレナ
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
学科・コース	プロミュージシャン科					
教員の略歴	THE SOULMATICOSのメンバーとしてDreams come true、谷村新司、和田アキ子など様々なアーティストと共演					
授業の学習 内容	リズム、ボリューム、コミュニケーション、曲の構成など、演奏を通して会話を重ねてアンサンブル力を育てるこの教科はバンドアンサンブルなど、コミュニケーションを要する授業に繋がる。本授業を通し、演奏だけでなく全てのコミュニケーションにおいて、相手を尊重することを学んで頂きたい。以上を踏まえ、様々なジャンルの曲を目標に合わせて選曲していき、学習ポイントを予め定めておくものとする。					
到達目標	譜面で会話をできるようになる為、歌詞ではなく譜面を見ながら演奏するように臨む。					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	授業の目的の講義、譜面を見ながらワンコーラス歌唱	課題曲を譜面を見て歌えるように予習
2	5月26日	講義・演習	譜面を見ながら演奏する	課題曲の練習、内容の振り返り
3	6月2日	講義・演習	譜面を見ながら演奏する	課題曲の練習、内容の振り返り
4	6月9日	講義・演習	譜面でサイズを確認しながら歌えるか、歌唱による小テストでチェック	課題曲の練習、内容の振り返り
5	6月16日	講義・演習	少ない音数の中で、リズムとグルーブをキープすることを学ぶ	課題曲の練習、内容の振り返り
6	6月23日	講義・演習	少ない音数の中で、リズムとグルーブをキープすることを学ぶ	課題曲の練習、内容の振り返り
7	6月30日	講義・演習	少ない音数の中で、リズムとグルーブをキープできるか、歌唱による小テスト	課題曲の練習、内容の振り返り
8	7月7日	講義・演習	デュエットにチャレンジ、3人で演奏することを学ぶ	課題曲の練習、内容の振り返り
9	7月14日	講義・演習	デュエットにチャレンジ、3人で演奏することを学ぶ	課題曲の練習、内容の振り返り
10	7月21日	講義・演習	デュエットでアンサンブルできるか、歌唱による小テスト	発表会の曲の練習、内容の振り返り
11	7月28日	講義・演習	発表会の曲を演奏、総合的なフィードバック	発表会の曲の練習、内容の振り返り
12	8月4日	講義・演習	模擬発表会	発表会でのMCの準備
13	8月18日	講義・演習	授業内発表会	前期の授業を通して感じたことを800-1000字以内でレポート
14	8月25日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月1日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲の練習、内容の振り返り	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Piano Duo A(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林香央 里 加藤エレナ
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
学科・コース	プロミュージシャン科					
教員の略歴	THE SOULMATICOSのメンバーとしてDreams come true、谷村新司、和田アキ子など様々なアーティストと共演					
授業の学習 内容	リズム、ボリューム、コミュニケーション、曲の構成など、演奏を通して会話を重ねてアンサンブル力を育てるこの教科はバンドアンサンブルなど、コミュニケーションを要する授業に繋がる。本授業を通し、演奏だけでなく全てのコミュニケーションにおいて、相手を尊重することを学んで頂きたい。以上を踏まえ、様々なジャンルの曲を目標に合わせて選曲していき、学習ポイントを予め定めておくものとする。					
到達目標	譜面で会話をできるようにする為、歌詞ではなく譜面を見ながら演奏するように臨む。					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	メインだけでなく、一流のコーラスにチャレンジ、ブレンド、リズム、コミュニケーションを同時に学ぶ	課題曲の練習、内容の振り返り
2	10月13日	講義・演習	メインだけでなく、一流のコーラスチャレンジ、ブレンド、リズム、コミュニケーションを同時に学ぶ	課題曲の練習、内容の振り返り
3	10月20日	講義・演習	メイン、コーラス、授業で学んだフィードバックが活かされているかを歌唱により小テスト	課題曲の歌詞を覚える、内容の振り返り
4	11月10日	講義・演習	ヴォーカル主体のリズム、グルーブで演奏を引っ張ることにチャレンジする	課題曲の練習、内容の振り返り
5	11月17日	講義・演習	ヴォーカル主体のリズム、グルーブで演奏を引っ張ることにチャレンジする	課題曲の練習、内容の振り返り
6	11月24日	講義・演習	ヴォーカル主体でリズム、グルーブを作ってリード出来るかを歌唱により小テスト	課題曲の歌詞を覚える、内容の振り返り
7	12月1日	講義・演習	パフォーマンスを含む、総合的なステージへのチャレンジをする	課題曲の練習、内容の振り返り
8	12月8日	講義・演習	パフォーマンスを含む、総合的なステージへのチャレンジをする	課題曲の練習、内容の振り返り
9	12月15日	講義・演習	パフォーマンスを含む、総合的なステージを意識して演奏できるか、歌唱により小テスト	課題曲の歌詞を覚える、内容の振り返り
10	12月22日	講義・演習	パフォーマンスを含む、総合的なステージを意識して演奏できるか、歌唱により小テスト	発表会の曲練習、内容の振り返り
11	1月12日	講義・演習	発表会の曲を演奏、総合的なフィードバック	発表会の曲練習、内容の振り返り
12	1月19日	講義・演習	模擬発表会	発表会でのMCの準備
13	1月26日	講義・演習	授業内発表会	後期の授業を通して感じたことを800-1000字以内でレポート
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲の練習、内容の振り返り	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Piano Duo B(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林香央 里 加藤エレナ
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
学科・コース	プロミュージシャン科					
教員の略歴	THE SOULMATICOSのメンバーとしてDreams come true、谷村新司、和田アキ子など様々なアーティストと共演					
授業の学習 内容	リズム、ボリューム、コミュニケーション、曲の構成など、演奏を通して会話を重ねてアンサンブル力を育てるこの教科はバンドアンサンブルなど、コミュニケーションを要する授業に繋がる。本授業を通し、演奏だけでなく全てのコミュニケーションにおいて、相手を尊重することを学んで頂きたい。以上を踏まえ、様々なジャンルの曲を目標に合わせて選曲していき、学習ポイントを予め定めておくものとする。					
到達目標	譜面で会話をできるようになる為、歌詞ではなく譜面を見ながら演奏するように臨む。					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	授業の目的の講義、譜面を見ながらワンコーラス歌唱	課題曲を譜面を見て歌えるように予習
2	5月26日	講義・演習	譜面を見ながら演奏する	課題曲の練習、内容の振り返り
3	6月2日	講義・演習	譜面を見ながら演奏する	課題曲の練習、内容の振り返り
4	6月9日	講義・演習	譜面でサイズを確認しながら歌えるか、歌唱による小テストでチェック	課題曲の練習、内容の振り返り
5	6月16日	講義・演習	少ない音数の中で、リズムとグルーブをキープすることを学ぶ	課題曲の練習、内容の振り返り
6	6月23日	講義・演習	少ない音数の中で、リズムとグルーブをキープすることを学ぶ	課題曲の練習、内容の振り返り
7	6月30日	講義・演習	少ない音数の中で、リズムとグルーブをキープできるか、歌唱による小テスト	課題曲の練習、内容の振り返り
8	7月7日	講義・演習	デュエットにチャレンジ、3人で演奏することを学ぶ	課題曲の練習、内容の振り返り
9	7月14日	講義・演習	デュエットにチャレンジ、3人で演奏することを学ぶ	課題曲の練習、内容の振り返り
10	7月21日	講義・演習	デュエットでアンサンブルできるか、歌唱による小テスト	発表会の曲の練習、内容の振り返り
11	7月28日	講義・演習	発表会の曲を演奏、総合的なフィードバック	発表会の曲の練習、内容の振り返り
12	8月4日	講義・演習	模擬発表会	発表会でのMCの準備
13	8月18日	講義・演習	授業内発表会	前期の授業を通して感じたことを800-1000字以内でレポート
14	8月25日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月1日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲の練習、内容の振り返り	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Piano Duo B(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林香央 里 加藤エレナ
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
学科・コース	プロミュージシャン科					
教員の略歴	THE SOULMATICOSのメンバーとしてDreams come true、谷村新司、和田アキ子など様々なアーティストと共演					
授業の学習 内容	リズム、ボリューム、コミュニケーション、曲の構成など、演奏を通して会話を重ねてアンサンブル力を育てるこの教科はバンドアンサンブルなど、コミュニケーションを要する授業に繋がる。本授業を通し、演奏だけでなく全てのコミュニケーションにおいて、相手を尊重することを学んで頂きたい。以上を踏まえ、様々なジャンルの曲を目標に合わせて選曲していき、学習ポイントを予め定めておくものとする。					
到達目標	譜面で会話をできるようになる為、歌詞ではなく譜面を見ながら演奏するように臨む。					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	メインだけでなく、一流のコーラスにチャレンジ、ブレンド、リズム、コミュニケーションを同時に学ぶ	課題曲の練習、内容の振り返り
2	10月13日	講義・演習	メインだけでなく、一流のコーラスチャレンジ、ブレンド、リズム、コミュニケーションを同時に学ぶ	課題曲の練習、内容の振り返り
3	10月20日	講義・演習	メイン、コーラス、授業で学んだフィードバックが活かしているかを歌唱により小テスト	課題曲の歌詞を覚える、内容の振り返り
4	11月10日	講義・演習	ヴォーカル主体のリズム、グルーブで演奏を引っ張ることにチャレンジする	課題曲の練習、内容の振り返り
5	11月17日	講義・演習	ヴォーカル主体のリズム、グルーブで演奏を引っ張ることにチャレンジする	課題曲の練習、内容の振り返り
6	11月24日	講義・演習	ヴォーカル主体でリズム、グルーブを作ってリード出来るかを歌唱により小テスト	課題曲の歌詞を覚える、内容の振り返り
7	12月1日	講義・演習	パフォーマンスを含む、総合的なステージへのチャレンジをする	課題曲の練習、内容の振り返り
8	12月8日	講義・演習	パフォーマンスを含む、総合的なステージへのチャレンジをする	課題曲の練習、内容の振り返り
9	12月15日	講義・演習	パフォーマンスを含む、総合的なステージを意識して演奏できるか、歌唱により小テスト	課題曲の歌詞を覚える、内容の振り返り
10	12月22日	講義・演習	パフォーマンスを含む、総合的なステージを意識して演奏できるか、歌唱により小テスト	発表会の曲練習、内容の振り返り
11	1月12日	講義・演習	発表会の曲を演奏、総合的なフィードバック	発表会の曲練習、内容の振り返り
12	1月19日	講義・演習	模擬発表会	発表会でのMCの準備
13	1月26日	講義・演習	授業内発表会	後期の授業を通して感じたことを800-1000字以内でレポート
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲の練習、内容の振り返り	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JazzDance(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	AI
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	様々なアーティストの振り付け指導や、バックダンサーとして活躍。講師歴8年						
授業の学習 内容	JAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。						
到達目標	プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記または実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	授業の進め方の説明。卒業までの目標確認	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
2	5月28日	講義・演習	身体の引き上げの理解し、ターンの練習	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
3	6月4日	講義・演習	連続ターンの練習	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	6月11日	講義・演習	ターンに応用を加える	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	6月18日	講義・演習	ピルエットの説明、練習開始	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	6月25日	講義・演習	ピルエットの回る回数を増やす	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	7月2日	講義・演習	6週まで学んだターンを取り入れたコンビネーション開始	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	7月9日	講義・演習	ターンコンビネーションの習得の練習	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	7月16日	講義・演習	ターンコンビネーションに応用を加える	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	7月30日	講義・演習	ターンコンビネーション応用の習得の練習	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	8月6日	講義・演習	1週目からのまとめの振付け	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	8月20日	講義・演習	試験準備	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	8月27日	講義・演習	定期試験	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	9月3日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでJAZZを観る、知る、触れる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JazzDance(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	AI
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	様々なアーティストの振り付け指導や、バックダンサーとして活躍。講師歴8年						
授業の学習 内容	JAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。						
到達目標	プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記または実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
2	10月15日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
3	11月5日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化①	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	11月12日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	11月19日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化③	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	11月26日	講義・演習	学んだ事を取り入れた振付け開始	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	12月3日	講義・演習	振付けの踊りこみ	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	12月10日	講義・演習	振付けの応用	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	12月17日	講義・演習	4週目からの振付けの発表	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	1月7日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付け開始	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	1月14日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	1月21日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ①	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	1月28日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	2月11日	講義・演習	試験準備	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
15	2月18日	講義・演習	定期試験	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでJAZZを観る、知る、触れる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Group Vocal(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鈴木さくら
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICOSのメンバーとして様々なレコーディング、イベント等に出演。						
授業の学習 内容	ヴォーカルグループとしての総合力を高め、良いチームワークの相乗効果を生む力を育てる。その為に、声、歌、ハーモニー、ダンス(フォーメーション)、パフォーマンス、マインドを学ぶ。プロとしてのステージを作り上げることを学ぶ。						
到達目標	歌と踊りそれぞれがスキルアップしていること。1曲の完成度を高め、より本番を意識したステージを作り上げられること。歌詞の意味を理解し表現することができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	授業の説明、自己紹介、課題曲1発表	課題曲準備
2	5月25日	講義・演習	課題曲1 歌、ハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
3	6月1日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
4	6月8日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
5	6月15日	講義・演習	クラス内発表、課題曲2 歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
6	6月22日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
7	6月29日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
8	7月6日	講義・演習	クラス内発表、課題曲3 歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
9	7月13日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
10	7月20日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
11	7月27日	講義・演習	クラス内発表、課題曲4 歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
12	8月3日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
13	8月17日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲の歌詞のアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Group Vocal(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鈴木さくら
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	THE SOULMATICOSのメンバーとし様々なレコーディング、イベント等に出演。						
授業の学習 内容	ヴォーカルグループとしての総合力を高め、良いチームワークの相乗効果を生む力を育てる。その為に、声、歌、ハーモニー、ダンス(フォーメーション)、パフォーマンス、マインドを学ぶ。プロとしてのステージを作り上げることを学ぶ。						
到達目標	歌やダンスの総合力はもちろん、お客様を意識したステージを作ることができる。曲の意味を理解し、自分で表現することができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	課題曲5 歌、ハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
2	10月15日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
3	10月22日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
4	11月5日	講義・演習	クラス内発表、課題曲6 歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
5	11月12日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
6	11月19日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
7	11月26日	講義・演習	クラス内発表、課題曲7 歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
8	12月3日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
9	12月10日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
10	12月17日	講義・演習	クラス内発表、課題曲8 歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
11	1月7日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
12	1月14日	講義・演習	最終リハ	クラス内発表に向けて個人練習
13	1月21日	講義・演習	クラス内発表会	発表会に向けての練習
14	1月28日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲の歌詞のアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel Ensemble (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2	5月25日	講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3	6月1日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4	6月8日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	6月15日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6	6月22日	講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7	6月29日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8	7月6日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9	7月13日	講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	7月20日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11	7月27日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12	8月3日	講義・演習	楽曲復習、ケイティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13	8月17日	講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			楽曲復習、学びの振り返り	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel Ensemble (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池末信
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2	10月12日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3	10月19日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4	11月9日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	11月16日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6	11月23日	講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7	11月30日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8	11月7日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9	11月14日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	11月21日	講義・演習	課題曲を用いてのライブシミュレーション	楽曲復習、学びの振り返り
11	1月18日	講義・演習	課題曲を用いてのライブシミュレーション	楽曲復習、学びの振り返り
12	1月25日	講義・演習	課題曲を用いてのライブシミュレーション	楽曲復習、学びの振り返り
13	2月1日	講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			楽曲復習、学びの振り返り	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Berkleeゼミ(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	遠藤敬三 潤豊
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	<small>遠藤敬三(B♭マリン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。B：松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。潤豊(vo) THE SOULMA TIC9のメンバーとして日本武道館にて平井堅と共演、KeKi Kids、長瀬剛、水根奈々など様々なアーティストのバックコーラス、レコーディングを行い、開校以来のヴォイストレーナーも務めている。</small>						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	課題曲1 ガイダンス、演習	課題曲各パートアナライズ
2	5月29日	講義・演習	課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか	前週の授業を踏まえ自己練習
3	6月5日	講義・演習	課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ	課題曲各パートアナライズ
4	6月12日	講義・演習	課題曲2 ヴォーカルによつての正しい音量バランス	前週の授業を踏まえ自己練習
5	6月19日	講義・演習	課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる	課題曲各パートアナライズ
6	6月26日	講義・演習	課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	7月3日	講義・演習	課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	7月10日	講義・演習	課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか	前週の授業を踏まえ自己練習
9	7月31日	講義・演習	課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
10	8月21日	講義・演習	課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏	前週の授業を踏まえ自己練習
11	8月28日	講義・演習	課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	8月7日	講義・演習	課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価	前週の授業を踏まえ自己練習
13	9月4日	講義・演習	課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス	課題曲各パートアナライズ
14	9月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月18日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Berkleeゼミ(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	遠藤敬三 潤豊
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	<small>遠藤敬三(B♭)マリン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパ3ヶ国ツアーを実現。B: 松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。潤豊(vo) THE SOULMA TICSOのメンバーとして日本武道館にて平井堅と共演、KeKi Kids、長瀬剛、水根奈々など様々なアーティストのバックコーラス、レコーディングを行い、開校以来のヴォイストレーナーも務めている。</small>						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
2	10月16日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
3	10月23日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレーズを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
4	11月6日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	課題曲各パートアナライズ
5	11月13日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	前週の授業を踏まえ自己練習
6	11月20日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
7	11月27日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができていくかどうか	前週の授業を踏まえ自己練習
8	12月4日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	課題曲各パートアナライズ
9	12月11日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	前週の授業を踏まえ自己練習
10	12月18日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
11	1月8日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	前週の授業を踏まえ自己練習
12	1月15日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
13	1月22日	講義・演習	課題曲13 総復習	前週の授業を踏まえ自己練習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月12日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Musicians' IT(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	結形式
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ブライダルやイベントでの動画撮影・編集をしながらYouTuberの動画編集なども担当している。						
授業の学習 内容	音楽家のみならず社会人として必要なビジネスメールのマナーや音源・映像データの知識、iPad proまたはMac Bookを使用して自身の宣伝フライヤーの制作やパフォーマンス動画の編集のやり方を学びます。						
到達目標	アーティストとして音源やセット図等のデータをやり取りする事ができる。 自身の宣伝フライヤーや映像資料を制作し、SNSに発信する事ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	自己紹介 / これからのアーティストを考える	事前にiPad Pro、Macbookをセットアップしておく
2	5月25日	講義・演習	ビジネスメールの基礎 / 音源基礎	普段の生活からメールのマナーを意識する
3	6月1日	講義・演習	セット図の書き方 / 宣伝フライヤー基礎	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う 授業で学んだ操作方法を復習する
4	6月8日	講義・演習	宣伝フライヤーの作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う 授業で学んだ操作方法を復習する
5	6月15日	講義・演習	GarageBandを使って楽曲制作	オリジナルの曲作りに励みましょう
6	6月22日	講義・演習	音源編集のやり方と楽曲の共有方法	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う 授業で学んだ操作方法を復習する
7	6月29日	講義・演習	動画編集基礎	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う 授業で学んだ操作方法を復習する
8	7月6日	講義・演習	動画編集実践 / 効果音・テロップ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う 授業で学んだ操作方法を復習する
9	7月13日	講義・演習	YouTubeアカウント作成 / サムネイル制作	自分の演奏動画をアップしてみる
10	7月20日	講義・演習	画像の切り抜き / リサイズ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う 授業で学んだ操作方法を復習する
11	7月27日	講義・演習	オリジナル宣伝フライヤーの作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う 授業で学んだ操作方法を復習する
12	8月3日	講義・演習	プレゼン資料の作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う 授業で学んだ操作方法を復習する
13	8月17日	講義・演習	2年次にむけての講義	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う 授業で学んだ操作方法を復習する
14	8月24日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
15	8月31日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Musicians' IT(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	結形式
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ブライダルやイベントでの動画撮影・編集をしながらYouTuberの動画編集なども担当している。						
授業の学習 内容	自分でコンテンツを作って投稿する事が当たり前となってきた今日、自分の強みとは何かを考えSNS・YouTubeアカウントに”統一感”を出していくブランディングを学びます。						
到達目標	携帯やiPad・カメラ機材を用いて自分でコンテンツ制作を行い、SNSの特徴などを分析して投稿する事ができる。自身の強みを理解しSNS・YouTubeアカウントをブランディングする事ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
2	10月12日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
3	10月19日	講義・演習	自分の強み・ブランディングとは何か	コンテンツ研究を行う。
4	11月9日	講義・演習	様々な動画を見て分析	自分のSNSやYouTubeも分析してみる
5	11月16日	講義・演習	YouTube動画撮影・編集	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
6	11月23日	講義・演習	YouTube動画編集・書き出し	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
7	11月30日	講義・演習	動画撮影テクニック / トランジション	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
8	12月7日	講義・演習	動画撮影テクニック / グリーンバック	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
9	12月14日	講義・演習	トレーラー映像作成	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
10	12月21日	講義・演習	宣伝動画撮影・編集	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
11	1月18日	講義・演習	自分プレゼンテーション1 / 準備	プレゼン資料の作成・コンテンツの準備
12	1月25日	講義・演習	自分プレゼンテーション2 / 発表	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
13	2月1日	講義・演習	カメラの扱い方・動画編集ソフトについて	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
14	2月8日	講義・演習	1年間の振り返り動画を編集	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
15	2月15日	講義・演習	2年次に向けての講義	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BasicKeyboard(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	キーボーディストとして28年、指導歴19年					
授業の学習 内容	楽器の特徴を知り、指の基礎の動き、体の使い方、練習方法及びコードの基礎知識を学び、音楽的表現方法、視野を広げる。					
到達目標	後期に向けて演奏方法の基礎力をつけ、簡単な伴奏による弾き歌いができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	使用楽器(キーボード)の特徴を知り、演奏における姿勢、指番号、音の位置、譜面の基礎知識を学ぶ。	鍵盤においてドレミファソラシドの位置を予習。
2	5月28日	講義・演習	Key=Cのスケール、運指、左右の動き、クロマチックの進み方、タッチについて	譜面、コードについて予習、復習をする。
3	6月4日	講義・演習	Key=C ダイアトニックコードについて展開形と循環コードワーク	譜面、コードについて予習、復習をする。
4	6月11日	講義・演習	曲:① 譜面配布。演奏方法 前半	譜面、コードについて予習、復習をする。
5	6月18日	講義・演習	曲:① 演奏方法 後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
6	6月25日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
7	7月2日	講義・演習	曲:② 譜面配布。演奏方法 前半	譜面、コードについて予習、復習をする。
8	7月9日	講義・演習	曲:② 演奏方法 後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
9	7月16日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
10	7月30日	講義・演習	曲:③ 譜面配布。演奏方法 前半	譜面、コードについて予習、復習をする。
11	8月6日	講義・演習	曲:③ 演奏方法 後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
12	8月20日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
13	8月27日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
14	9月3日	講義・演習	イベントを通してキーボード技術を学ぶ	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
15	9月10日	講義・演習	イベントを通してキーボード技術を学ぶ	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
準備学習 時間外学習			譜面、コードについて予習、復習をする。課題。	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント				

科目名	BasicKeyboard(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	加藤エレナ
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	キーボーディストとして28年、指導歴19年						
授業の学習 内容	楽器の特徴を知り、指の基礎の動き、体の使い方、練習方法及びコードの基礎知識を学び、音楽的表現方法、視野を広げる。						
到達目標	前期の基礎を生かして演奏方法の応用力をつけ、簡単な伴奏による弾き歌いができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	曲:① 譜面配布。演奏方法、前半 クリシェ進行、オンコードについて	鍵盤においてドレミファソラシドの位置を予習。
2	10月15日	講義・演習	曲:① 演奏方法、後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
3	11月5日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
4	11月12日	講義・演習	曲:② 譜面配布。演奏方法、前半 簡単なテンションコードについて。	譜面、コードについて予習、復習をする。
5	11月19日	講義・演習	曲:② 演奏方法、後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
6	11月26日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
7	12月3日	講義・演習	曲:③ 譜面配布 演奏方法、前半	譜面、コードについて予習、復習をする。
8	12月10日	講義・演習	曲:③ 譜面配布。後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
9	12月17日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
10	1月7日	講義・演習	簡単なコードワークと作曲	譜面、コードについて予習、復習をする。
11	1月14日	講義・演習	簡単なコードワークと作曲	譜面、コードについて予習、復習をする。
12	1月21日	講義・演習	簡単なコードワークと作曲	譜面、コードについて予習、復習をする。
13	1月28日	講義・演習	簡単なコードワークと作曲	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
14	2月11日	講義・演習	イベントを通してキーボード技術を学ぶ	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
15	2月18日	講義・演習	イベントを通してキーボード技術を学ぶ	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント				

科目名	Expression(3) VT(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 潤登 小林香央里 田原佑一朗 國末慶宏 吉田華奈 橋本美沙
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATIC成员。ゴスペルシンガーとしてだけでなくツアーコーラス、ミュージカルなど幅広く活動。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上、基礎力の定着及び、アーティストとしての表現力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	5月25日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	6月1日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	6月8日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	6月15日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	6月22日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	6月29日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	7月6日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	7月13日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	7月20日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	7月27日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	8月3日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	8月17日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲の分析
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲の分析
準備学習 時間外学習			発声練習及び課題曲練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(3) Gt Melodic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	廣瀬昌明
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	Brainsout, イガバンBBなどでの活動の他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	メロディック・コンセプト1で習得した技術と知識をベースに、 アプローチのバリエーションとトレーニングを行い、オリジナル・スタイルでのプレイを目指す。						
到達目標	ポピュラー、R&B、ジャズ、ロックなどでよく使われる一般的なコード進行でソロを弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	2 of us進行 ドリアン・アプローチの理解と実践	vii-v-i-bVII-bIII7進行でソロ練習
2	6月5日	講義・演習	B Bossa (1) マイナーii-V	i-iv-ii-v(key=Cm)進行でソロ練習
3	6月12日	講義・演習	B Bossa (2) キー・チェンジの練習	ii-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
4	6月19日	講義・演習	TeeUp(1) コンビングとベースライン	II-V-I(key=D)進行でソロ練習
5	6月26日	講義・演習	TeeUp(2) ウォーキングベースとのコンビネーション	II-V-I(key=Bb)進行でソロ練習
6	7月3日	講義・演習	greater love (1) ペントニック・アプローチ	I-IV7-bVII-VI7-II7-V(key=Bb) 進行でソロ練習
7	7月10日	講義・演習	greater love (2) ディミニッシュ・アプローチ	ii-v-i(key=Gm)進行でソロ練習
8	7月31日	講義・演習	Stella(1) m7b5のアプローチ	ii-v-i(key=Dm)進行でソロ練習
9	8月21日	講義・演習	Stella(2) オルタードにフォーカスする	Valt-i(key=Cm)進行でソロ練習
10	8月28日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペントニック	bIII-ii-v-i(key=Eb)進行でソロ練習
11	9月4日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペントニック2	II7-II-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
12	9月11日	講義・演習	Dolphin ST (1) M3, m3切り替え	Imaj7-Im7(key=C)進行でソロ練習
13	9月18日	講義・演習	Dolphin ST (2) 7thコードの転回形のアプローチ	II7/I-bII/I(key=C)進行でソロ練習
14	9月25日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	前期で学んだ授業内容を振り返り、予習と復習を行う
15	10月2日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	前期で学んだ授業内容を振り返り、予習と復習を行う
準備学習 時間外学習		授業内容を予習・復習し、実際にギターを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)		
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Expression A(3) Bass Line Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	河野充生
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習 内容	様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。						
到達目標	1、様々なグルーヴのベースラインを分析し、演奏出来るようになること。 2、代理コードの概念を理解し、正しくフレージング出来るようになること。 3、様々なコード進行に対し、適正なアルペジオとスケールを設定出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	8ビートのリズムパターン、ドラムとのコンビネーションを意識したベースラインが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
2	5月29日	講義・演習	分析と移調の重要性を把握し、フレーズを様々なキーで演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
3	6月5日	講義・演習	アーティキュレーション、ニュアンスによる印象の変化を意識して演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
4	6月12日	講義・演習	16ビートのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
5	6月19日	講義・演習	セカンダリードミナントの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
6	6月26日	講義・演習	シャッフルのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
7	7月3日	講義・演習	分数コードやクリシェの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
8	7月10日	講義・演習	様々な拍子のベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
9	7月17日	講義・演習	拍子の細分化を理解し、奇数拍子のベースラインを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
10	7月31日	講義・演習	サンバ/ボサノヴァのベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
11	8月7日	講義・演習	レゲエのベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
12	8月21日	講義・演習	マンボなどのラテン系ベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
13	8月28日	講義・演習	前期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習
14	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習		教科書を用いて読譜をし、授業準備を行う。日常的にベースを演奏し、授業内容の復習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				
ベースラインコンセプト教科書				

科目名	Expression A(3) Key Play Tech(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	土屋剛
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	1990年からミュージシャンの仕事をする。2004年からTSMIにて指導を行う。						
授業の学習 内容	1年次に学んだ内容を踏まえ、より実践的な奏法や音作りを学ぶ。課題曲を弾く中で、同時に理論の解説・実習を行う。						
到達目標	練習の場ではなく、レコーディングやライブ本番で使える技能を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	課題曲1を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
2	5月25日	講義・演習	課題曲1の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
3	6月1日	講義・演習	課題曲1の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
4	6月8日	講義・演習	課題曲1の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
5	6月15日	講義・演習	課題曲2を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
6	6月22日	講義・演習	課題曲2の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
7	6月29日	講義・演習	課題曲2の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
8	7月6日	講義・演習	課題曲2の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
9	7月13日	講義・演習	課題曲3を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
10	7月20日	講義・演習	課題曲3の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
11	7月27日	講義・演習	課題曲3の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
12	8月3日	講義・演習	前期課題曲を使つての実技試験。	前期内容の復習。
13	8月17日	講義・演習	前期まとめ。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
14	8月24日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
15	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression(4) VT(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 潤登 小林香央里 田原佑一朗 國末慶宏 吉田華奈 橋本美沙
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
学科・コース	プロミュージシャン科					
教員の略歴	THE SOULMATIC成员。ゴスペルシンガーとしてだけでなくツアーコーラス、ミュージカルなど幅広く活動。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上、基礎力の定着及び、アーティストとしての表現力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	10月12日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	10月19日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	11月9日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	11月16日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	11月23日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	11月30日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	11月7日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	11月14日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	11月21日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	1月18日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
12	1月25日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
13	2月1日	講義・演習	卒業に向けてカウンセリング(個人面談なども有)、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			発声練習及び課題曲練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(4) Gt Melodic Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	廣瀬昌明
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	Brainsout, イガバンBBなどでの活動の他、アーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	様々な曲のアナライズを行い、コードにあった音の選択を実践、ソロ・アプローチのバリエーションを増やす。						
到達目標	ポピュラー、R&B、ジャズ、ロックなどでよく使われる一般的なコード進行でソロを弾けるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	
2	10月16日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	
3	10月23日	講義・演習	1n Samba(1) インナーボイスの半音進行	iii-bII7-ii-bII7b5(key=Bb)進行でソロ練習
4	11月6日	講義・演習	1n Samba(2) チェンジの練習	ii-bIIb5-iii(key=Bb)進行でソロ練習
5	11月13日	講義・演習	Boiled chicken(1) 7thコードでの切り替え:ミクソリディアンベース	I7-IV7(key=Bb)進行でソロ練習
6	11月20日	講義・演習	Boiled chicken(1) 7thコードでの切り替え:ミクソリディアンベース	II7-V7-I7(key=C)進行でソロ練習
7	11月27日	講義・演習	Spring Leaves(1) 1キーアプローチ	ii-V-I-IV(key=G)進行でソロ練習
8	12月4日	講義・演習	Spring Leaves(2) 各コードブロックのアプローチ	ii-bIII7-ii-bII7(key=C)進行でソロ練習
9	12月11日	講義・演習	No Chase(1) Jazz Bluesでの基本アプローチ	12小節ブルース進行(key=F)進行でソロ練習
10	12月18日	講義・演習	No Chase(2) ターンアラウンドのバリエーション	iii-VI7-ii-V(key=F)進行でソロ練習
11	1月8日	講義・演習	Wild Flow リディアン/ドリアンでのモードアプローチ	[3/4] Imaj7#11-bVII7(key=Bb)進行でソロ練習
12	1月15日	講義・演習	Sake and Horses(1) コンビネーションdimスケール	V7b5b9-V9-i(key=Gm)進行でソロ練習
13	1月22日	講義・演習	Sake and Horses(2) モーダル・インターチェンジ	I-bVII7(key=F)進行でソロ練習
14	1月29日	講義・演習	Small Steps(1) 連続するV-Iキーチェンジのアプローチ	V-I(key=G,Eb,B)進行でソロ練習
15	2月12日	講義・演習	Small Steps(2) 3度進行へのアプローチ	ii-V-I(key=Eb,G,B)進行でソロ練習
準備学習 時間外学習		授業内容を予習・復習し、実際にギターを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)		
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Expression A(4) Bass Line Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	河野充生
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習 内容	様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。						
到達目標	1、様々なグルーヴのベースラインを分析し、演奏出来るようになること。 2、代理コードの概念を理解し、正しくフレージング出来るようになること。 3、様々なコード進行に対し、適正なアルペジオとスケールを設定出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
2	10月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
3	11月6日	講義・演習	代理コードの構成音の類似性を理解する。	チャプター内のエクササイズの復習。
4	11月13日	講義・演習	裏コードとバッキングデミニッシュの機能を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
5	11月20日	講義・演習	モーダルインターチェンジその他の代理コードの機能を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
6	11月27日	講義・演習	ウォーキングベースの手法とコンセプトを理解する。	チャプター内のエクササイズの復習。
7	12月4日	講義・演習	ウォーキングベースの様々なアプローチを習得し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
8	12月11日	講義・演習	ヴォイスリーディングの手法を理解し、実践できる。	チャプター内のエクササイズの復習。
9	12月18日	講義・演習	ワンコーラスのウォーキングベースラインを作成し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
10	1月8日	講義・演習	メロディーとそのリズム、モチーフの重要性について理解する。	チャプター内のエクササイズの復習。
11	1月15日	講義・演習	ワンコードのベースソロのフレージングを習得し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
12	1月22日	講義・演習	コードトーンやテンションを意識したフレージングを意識し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
13	1月29日	講義・演習	コード進行の分析とソロのコピーの手法を習得し、実践する。	チャプター内のエクササイズの復習。
14	2月12日	講義・演習	練習曲に対してベースラインとソロを作成し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
15	2月19日	講義・演習	後期のまとめと確認、評価	チャプター内のエクササイズの復習。
準備学習 時間外学習		教科書を用いて読譜をし、授業準備を行う。日常的にベースを演奏し、授業内容の復習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				
ベースラインコンセプト教科書				

科目名	Expression A(4) Key Play Tech(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	土屋 剛
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	1990年からミュージシャンの仕事をする。2004年からTSMIにて指導を行う。						
授業の学習 内容	教員が現場で使った資料等を使い、現場での対応・思考を指導する。						
到達目標	実際に仕事をする事ができる能力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
2	10月12日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
3	10月19日	講義・演習	課題曲4を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
4	11月9日	講義・演習	課題曲4の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
5	11月16日	講義・演習	課題曲4の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
6	11月23日	講義・演習	課題曲5を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
7	11月30日	講義・演習	課題曲5の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
8	12月7日	講義・演習	課題曲5の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
9	12月14日	講義・演習	課題曲6を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
10	12月21日	講義・演習	課題曲6の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
11	1月18日	講義・演習	課題曲6の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
12	1月25日	講義・演習	後期課題曲を使つての実技試験。	後期内容の復習。
13	2月1日	講義・演習	課題曲7を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
14	2月8日	講義・演習	課題曲7の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
15	2月15日	講義・演習	後期まとめ。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression B(3) Vocal Reading(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 三浦侑美
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
学科・コース	プロミュージシャン科					
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なレコーディング、イベント等に出演。					
授業の学習 内容	よりシンガーに特化したリズムトレーニング、メロディー歌唱、聴音を行う。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> より高度なリズムとメロディーを理解し歌うことが出来る 様々な種類のスケールを歌うことが出来る より高度なリズムとメロディーを聴きとり譜面に起こす事が出来る 様々な種類のコードの聴き分けが出来る アカペラでアンサンブルすることが出来る 					
評価方法及び基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	リズム→6/8拍子を学ぶ。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーF)。アカペラアンサンブル練習。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	ワークシートを用いて予習・復習
2	5月29日	講義・演習	リズム→6/8拍子を学ぶ。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーF)。アカペラアンサンブル練習。	ワークシートを用いて予習・復習
3	6月5日	講義・演習	リズム→表現記号を音読して歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーG)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
4	6月12日	講義・演習	リズム→表現記号を音読して歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーG)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
5	6月19日	講義・演習	リズム→スウィングのリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーB♭)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
6	6月26日	講義・演習	リズム→スウィングのリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーB♭)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
7	7月3日	講義・演習	リズム→6/8の細かいリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
8	7月10日	講義・演習	リズム→6/8の細かいリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
9	7月31日	講義・演習	リズム→2/2拍子を学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
10	8月21日	講義・演習	前期テスト範囲発表。復習など。	ワークシートを用いて予習・復習
11	8月28日	講義・演習	後期テスト	ワークシートを用いて予習・復習
12	8月7日	講義・演習	後期テスト予備日	ワークシートを用いて予習・復習
13	9月4日	講義・演習	リズム→2/2拍子を学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	ワークシートを用いて予習・復習
14	9月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月18日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いて予習・復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
Ear Training1、2 Workbook				

科目名	Expression B(3) Gt Harmonic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	安東滋
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	TSM(前身のTGA含む)での実務歴25年。Harmonic Conceptの担当歴10年。						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代を生きる全ギタリストの必須スキルのひとつです。 ・本授業では、その土台を形成するためのテンション・コードの習得と、それをを用いた実践的なエクササイズを並行させ、柔軟なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていきます。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コード理論とボイスイングの方法をより深く学び、和音のセンスを磨く ・ギタリストの目線で、テンションを含むコード・ボイスイングを体系的に学ぶ ・コード・フォーム(ボイスイング)を自身で組み立てられることを目指す 						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	add9フォームの考察と実践	各フォームを定着させるための予習と復習
2	5月25日	講義・演習	add9(sus2)フォームの考察と実践	各フォームを定着させるための予習と復習
3	6月1日	講義・演習	7th系テンション・コード学習:9th(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
4	6月8日	講義・演習	同:9th(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
5	6月15日	講義・演習	同:13th(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
6	6月22日	講義・演習	同:13th(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
7	6月29日	講義・演習	同:6&9th(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
8	7月6日	講義・演習	同:6&9th(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
9	7月13日	講義・演習	同:11th(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
10	7月20日	講義・演習	同:11th(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
11	7月27日	講義・演習	同:#11th(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
12	8月3日	講義・演習	同:#11th(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
13	8月17日	講義・演習	試験週	前期で学んだ全コード・フォームの復習
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習		リズム感&タイム感の修練、グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ		
【使用教科書・教材・参考書】				
H.C.2教科書、補足教材適宜				

科目名	Expression B(3) Dr Groove Making(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	奥出矢
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	ドラムテクニック系のクラスを長く担当する。滋慶グループ全校統一テキストも作成している。						
授業の学習 内容	スタンダードグループの抽出とアナライズが主な内容となる。幾つかの代表的なプレイスタイルを実践し、特化した技術、知識、フィーリングを学ぶ。ラテン音楽やジャズにも触れ総合的に音楽の理解を深めていく。						
到達目標	ワールドスタンダードなリズムフィールを習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上において、様々な音楽ジャンルのエッセンスを昇華して主体的にグルーブメイク出来る能力を身につける事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	ボサノバ・フィールの習得。ブラジリアンリズムと歴史的背景の理解と実践	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~2)
2	5月25日	講義・演習	ボサノバ特有のドラムアプローチの実践。4Wayコントロールを含むフィールの継続	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~2)
3	6月1日	講義・演習	チャートリーディングを伴うボサノバ・アプローチの実践(トライアル Chapter28)	マイナスワウン音源を使用して主体的なフィールの決定を試みる
4	6月8日	講義・演習	レゲエ・フィールの習得。ジャマイカンリズムと歴史的背景の理解と実践	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~3)
5	6月15日	講義・演習	チャートリーディングを伴うレゲエ・アプローチの実践(トライアル Chapter30)	マイナスワウン音源を使用して主体的なフィールの決定を試みる
6	6月22日	講義・演習	サンバ・フィールの習得。ブラジリアンリズムと歴史的背景の理解と実践	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~2)
7	6月29日	講義・演習	サンバ・アプローチ・バリエーションの実践(パターン、演奏フォーム、モチーフ等)	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~4)
8	7月6日	講義・演習	アフロ6/8フィールの習得。アフリカンリズムと歴史的背景の理解	パーカッション・アプローチも試みる
9	7月13日	講義・演習	6/8系ドラムアプローチの実践。フィールやバリエーションに関する考察	パーカッション・アプローチも試みる
10	7月20日	講義・演習	アフロ・キューバン・フィールの習得。リズム構造と歴史的背景の理解と実践	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する(Step1~2)
11	7月27日	講義・演習	アフロ・キューバン・フィールの習得。パーカッション・アンサンブルの基礎理解	練習用リズムトラックを使用してフィールの継続を試みる
12	8月3日	講義・演習	アフロ・キューバン・リズムの種類と概要の把握	練習用リズムトラックを使用してフィールの継続を試みる
13	8月17日	講義・演習	前期のまとめ:ワールド・ビートを統括して解析	後期授業スタートまでの期間に興味の対象となるジャンルを研究する
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
準備学習 時間外学習		段階的なブラクティス以外に、マイナスワウン音源や練習用リズムトラックを使用して、アンサンブルに近い形でのエクササイズを推奨する		
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版オリジナルテキスト「DRUM GROOVE MAKING」				

科目名	Expression B(3) Key Harmonic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加藤エレナ
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	キーボーディストとして28年、指導歴19年						
授業の学習 内容	キーボード演奏テクニックと知識(ハーモニー、リズム、スケール、音色)、ジャンルの音楽言語学び、それらを音楽的に表現するための考え方、応用力スキルを身につけるための授業。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各ジャンルの核を勉強するために必要な要点を理解し、実践できるようになる 基礎知識、スケール、コードを理解し、演奏できるようになる ハーモニーアレンジの考え方、バックビートリズム、グルーブについて学び、研究し、実践(アンサンブル)に活かせるようになる これらの知識から、アドリブを取れるようになる 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	曲①メロディー、スケール、ハーモニー分析、実演	曲、譜面について予習、復習をする。
2	5月29日	講義・演習	曲①アドリブ、アレンジ	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
3	6月5日	講義・演習	World musicについて、ポリリズム	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
4	6月12日	講義・演習	サルサ モントゥーノについて、リック	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
5	6月19日	講義・演習	ラテンpops、カリビアン	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
6	6月26日	講義・演習	アフロジャズ	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
7	7月3日	講義・演習	ボサノヴァ	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
8	7月10日	講義・演習	レゲエ	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
9	7月17日	講義・演習	スパニッシュメロディー、スケール、ハーモニー分析、実演	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
10	7月31日	講義・演習	スパニッシュメロディー、スケール、ハーモニー分析、実演後半	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
11	8月7日	講義・演習	メロディー、リディアンスケール、ハーモニー分析、実演	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
12	8月21日	講義・演習	メロディー、リディアンスケール、ハーモニー分析、実演後半	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
13	8月28日	講義・演習	演奏、筆記	予習、復習をする。課題。
14	9月4日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
15	9月11日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント				

科目名	Expression B(4) Vocal Reading(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	三浦伶美 前川瑞稀
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとし様々なレコーディング、イベント等に出演。						
授業の学習 内容	よりシンガーに特化したリズムトレーニング、メロディー歌唱、聴音を行う。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・より高度なリズムとメロディーを理解し歌うことが出来る。 ・様々な種類のスケールを歌うことが出来る。 ・より高度なリズムとメロディーを聴きとり譜面に起こす事が出来る。 ・様々な種類のコードの聴き分けが出来る。 ・アカペラでアンサンブルすることが出来る。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	リズム→表現記号を意識して細かいリズムを歌う。アカペラアンサンブルパート決めと練習。メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
2	10月14日	講義・演習	リズム→表現記号を意識して細かいリズムを歌う。アカペラアンサンブルパート決めと練習。メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
3	10月21日	講義・演習	リズム→3連符と2拍3連を歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
4	11月11日	講義・演習	リズム→3連符と2拍3連を歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
5	11月18日	講義・演習	リズム→12/8拍子のリズムを歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
6	11月25日	講義・演習	リズム→12/8拍子のリズムを歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
7	12月2日	講義・演習	リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
8	12月9日	講義・演習	リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
9	12月16日	講義・演習	リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
10	1月10日	講義・演習	後期テスト発表と今までの復習	ワークシートを用いて予習・復習
11	1月13日	講義・演習	リズム→創作リズムや、より難しいリズムに挑戦する。アカペラアンサンブルの練習。	ワークシートを用いて予習・復習
12	1月20日	講義・演習	リズム→創作リズムや、より難しいリズムに挑戦する。アカペラアンサンブルの練習。	ワークシートを用いて予習・復習
13	1月27日	講義・演習	リズム→創作リズムや、より難しいリズムに挑戦する。アカペラアンサンブルの練習。	ワークシートを用いて予習・復習
14	2月14日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いて予習・復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
Ear Training1、2 Workbook				

科目名	Expression B(4) Gt Harmonic Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	安東滋
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	TSM(前身のTGA含む)での実務歴25年。Harmonic Conceptの担当歴10年。						
授業の学習 内容	・多種多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代を生きる全ギタリストの必須スキルのひとつです。 ・本授業では、その土台を形成するためのテンション・コードの習得と、それをを用いた実践的なエクササイズを並行させ、柔軟なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていきます。						
到達目標	・コード理論とボイスイングの方法をより深く学び、和音のセンスを磨く ・ギタリストの目線で、テンションを含むコード・ボイスイングを体系的に学ぶ ・コード・フォーム(ボイスイング)を自身で組み立てられることを目指す						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	オルタード・テンションを学ぶ(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
2	10月12日	講義・演習	オルタード・テンションを学ぶ(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
3	10月19日	講義・演習	Available Note ScaleとTensionの関連性	各フォームを定着させるための予習と復習
4	11月9日	講義・演習	コード進行を“読む”	各フォームを定着させるための予習と復習
5	11月16日	講義・演習	secondary dominantを学ぶ(1:長調)	各フォームを定着させるための予習と復習
6	11月23日	講義・演習	minor keyの考察と実践	各フォームを定着させるための予習と復習
7	11月30日	講義・演習	secondary dominantを学ぶ(2:短調)	各フォームを定着させるための予習と復習
8	12月7日	講義・演習	II m7-V7のボキャブラリーを開拓	各フォームを定着させるための予習と復習
9	12月14日	講義・演習	II m7(b5)-V7のボキャブラリーを開拓	各フォームを定着させるための予習と復習
10	12月21日	講義・演習	モード系のコード・ワークを学ぶ(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
11	1月18日	講義・演習	モード系のコード・ワークを学ぶ(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
12	1月25日	講義・演習	ダブル・ストップの活用	各フォームを定着させるための予習と復習
13	2月1日	講義・演習	試験週	後期で学んだ全コード・フォームの復習
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習		リズム感&タイム感の修練、グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ		
【使用教科書・教材・参考書】				
H.C.2教科書、補足教材適宜				

科目名	Expression B(4) Dr Groove Making(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	奥出矢
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	ドラムテクニック系のクラスを長く担当する。滋慶グループ全校統一テキストも作成している。						
授業の学習 内容	スタンダードグルーブの抽出とアナライズが主な内容となる。幾つかの代表的なプレイスタイルを実践し、特化した技術、知識、フィーリングを学ぶ。ラテン音楽やジャズにも触れ総合的に音楽の理解を深めていく。						
到達目標	ワールドスタンダードなリズムフィールを習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上において、様々な音楽ジャンルのエッセンスを昇華して主体的にグルーブメイク出来る能力を身につける事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	スウィング(4ビート)フィールの習得。4ビートアプローチのための基礎理解	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3)
2	10月12日	講義・演習	スウィング(4ビート)フィールの習得。4Wayコンビネーションのトレーニング	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3)
3	10月19日	講義・演習	スウィング(4ビート)フィールの習得。手足の連動性が複雑化したアドバンスアプローチ	テキスト内で提示された段階的プラクティスを消化する(Step1~3)
4	11月9日	講義・演習	スタイルアナライズ(モータウンの歴史的背景、代表曲からのグルーブ抽出)	参考曲の研究 Chapter42&43
5	11月16日	講義・演習	スタイルアナライズ(スネア、スリッパが特徴的なファンクスタイルの実践)	参考曲の研究 Chapter44
6	11月23日	講義・演習	スタイルアナライズ(ニューオリンズ系の3:2型リズムモチーフを活かしたビートの実践)	参考曲の研究 Chapter45
7	11月30日	講義・演習	スタイルアナライズ(シンコペーション色が強いファンクスタイルの実践)	参考曲の研究 Chapter46
8	12月7日	講義・演習	グルーブメイク・トライアル(JB系のファンク)Chapter55	マイナスワン音源を使用してフィールを構築する
9	12月14日	講義・演習	グルーブメイク・トライアル(セカンドライン・フィールのロック)Chapter56	マイナスワン音源を使用してフィールを構築する
10	12月21日	講義・演習	グルーブメイク・トライアル(ストレート・フィールのファンク)Chapter57	マイナスワン音源を使用してフィールを構築する
11	1月18日	講義・演習	グルーブメイク・トライアル(バウンス・フィールのファンク)Chapter58	マイナスワン音源を使用してフィールを構築する
12	1月25日	講義・演習	グルーブメイク・トライアル(6/8フィールのファンク・ロック)Chapter59	マイナスワン音源を使用してフィールを構築する
13	2月1日	講義・演習	グルーブメイク・トライアル(ラテン・フィールのファンク)Chapter60	マイナスワン音源を使用してフィールを構築する
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
準備学習 時間外学習		段階的なプラクティス以外に、マイナスワン音源や練習用リズムトラックを使用して、アンサンブルに近い形でのエクササイズを推奨する		
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版オリジナルテキスト「DRUM GROOVE MAKING」				

科目名	Expression B(4) Key Harmonic Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加藤エレナ
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	キーボーディストとして28年、指導歴19年						
授業の学習 内容	キーボード演奏テクニックと知識(ハーモニー、リズム、スケール、音色)、ジャンルの音楽言語学び、それらを音楽的に表現するための考え方、応用力スキルを身につけるための授業。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各ジャンルの核を勉強するために必要な要点を理解し、実践できるようになる。 基礎知識、スケール、コードを理解し、演奏できるようになる。 ハーモニーアレンジの考え方、バックビートリズム、グルーブについて学び、研究し、実践(アンサンブル)に活かせるようになる これらの知識から、アドリブを取れるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
2	10月16日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
3	11月6日	講義・演習	Blues リック、グルーブ、スタイル①	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
4	11月13日	講義・演習	Blues リック、グルーブ、スタイル②	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
5	11月20日	講義・演習	Blues リック、グルーブ、スタイル③	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
6	11月27日	講義・演習	New Orleans リック、グルーブ、スタイル①	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
7	12月4日	講義・演習	New Orleans リック、グルーブ、スタイル②	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
8	12月11日	講義・演習	リハモ、ボイスンク考察、応用	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
9	12月18日	講義・演習	Gospel リック、グルーブ、スタイル①	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
10	1月8日	講義・演習	Gospel リック、グルーブ、スタイル②	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
11	1月15日	講義・演習	Gospel リック、グルーブ、スタイル③	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
12	1月22日	講義・演習	スタイル応用①	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
13	1月29日	講義・演習	スタイル応用②	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
14	2月12日	講義・演習	スタイル応用③	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
15	2月19日	講義・演習	演奏、筆記	まとめ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント				

科目名	Piano Duo A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	橋元美沙 田中ひなの
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	THE SOULMATICのヴォーカリストとして活動し、教育指導を行っている。						
授業の学習 内容	リズム、ボリューム、コミュニケーション、曲の構成など、演奏を通して会話を重ねてアンサンブル力を育てるこの教科はバンドアンサンブルなど、コミュニケーションを要する授業に繋がる。本授業を通し、演奏だけでなく全てのコミュニケーションにおいて、相手を尊重することを学んで頂きたい。以上を踏まえ、様々なジャンルの曲を、目標に合わせて選曲していき、学習ポイントを予め決めておくものとする。						
到達目標	ピアノ奏者と2人で会話することに慣れるため、カラオケでは行えない実際の人の演奏で歌う授業を行う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	授業の目的のレクチャー	課題曲を歌詞を見て歌えるように予習
2	6月4日	講義・演習	アイコンタクトの指導	課題曲の練習
3	6月11日	講義・演習	アイコンタクトの指導	課題曲の歌詞を覚えてくる
4	6月18日	講義・演習	アイコンタクトを意識した、歌唱による小テスト	課題曲の練習
5	6月25日	講義・演習	マイキングの指導	課題曲の練習
6	7月2日	講義・演習	マイキングの指導	課題曲の歌詞を覚えてくる
7	7月9日	講義・演習	マイキングを意識した、歌唱による小テスト	課題曲の練習
8	7月16日	講義・演習	ヴォーカルとピアノの音量バランスを意識した歌唱指導	課題曲の練習、内容の振り返り
9	7月30日	講義・演習	ヴォーカルとピアノの音量バランスを意識した歌唱指導	課題曲の練習、内容の振り返り
10	8月20日	講義・演習	ヴォーカルとピアノの音量バランスを意識した歌唱による小テスト	発表会の曲の練習、内容の振り返り
11	8月27日	講義・演習	発表会の曲を演奏、総合的なフィードバック	発表会の曲の練習、内容の振り返り
12	9月3日	講義・演習	模擬発表会	発表会でのMCの準備
13	9月10日	講義・演習	授業内発表会	前期の授業を通して感じたことを800-1000字以内でレポート
14	9月17日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月24日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲の練習、内容の振り返り	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Piano Duo A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	橋元美沙 田中ひなの
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	THE SOULMATICのヴォーカリストとして活動し、教育指導を行っている。						
授業の学習 内容	リズム、ボリューム、コミュニケーション、曲の構成など、演奏を通して会話を重ねてアンサンブル力を育てるこの教科はバンドアンサンブルなど、コミュニケーションを要する授業に繋がる。本授業を通し、演奏だけでなく全てのコミュニケーションにおいて、相手を尊重することを学んで頂きたい。以上を踏まえ、様々なジャンルの曲を、目標に合わせて選曲していき、学習ポイントを予め定めておくものとする。						
到達目標	ピアノ奏者と2人で会話することに慣れるため、カラオケでは行えない実際の人の演奏で歌う授業を行う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	リズムキープを安定させることを意識した歌唱による指導	課題曲の練習、内容の振り返り
2	10月15日	講義・演習	リズムキープを安定させることを意識した歌唱による指導	課題曲の練習、内容の振り返り
3	10月22日	講義・演習	リズムキープを安定させることを、歌唱により小テスト	課題曲の歌詞を覚える、内容の振り返り
4	11月5日	講義・演習	リズムキープを安定させることを、歌唱により小テスト	課題曲の歌詞を覚える、内容の振り返り
5	11月12日	講義・演習	キューでサイズをコントロールする練習を、歌唱を通して指導	課題曲の練習、内容の振り返り
6	11月19日	講義・演習	キューでサイズをコントロールする練習を、歌唱を通して指導	課題曲の練習、内容の振り返り
7	11月26日	講義・演習	キューでサイズをコントロールすることを、歌唱により小テスト	課題曲の歌詞を覚える、内容の振り返り
8	12月3日	講義・演習	アイコンタクトではなく、呼吸や歌い方によってコミュニケーションすることに、歌唱を通してチャレンジする	課題曲の練習、内容の振り返り
9	12月10日	講義・演習	アイコンタクトではなく、呼吸や歌い方によってコミュニケーションすることに、歌唱を通してチャレンジする	課題曲の練習、内容の振り返り
10	12月17日	講義・演習	アイコンタクトではなく、呼吸や歌い方によってのコミュニケーション力を歌唱により小テスト	発表会の曲練習、内容の振り返り
11	1月7日	講義・演習	発表会の曲を演奏、総合的なフィードバック	発表会の曲練習、内容の振り返り
12	1月14日	講義・演習	模擬発表会	発表会でのMCの準備
13	1月21日	講義・演習	授業内発表会	後期の授業を通して感じたことを800-1000字以内でレポート
14	1月28日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲の練習、内容の振り返り	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Piano Duo B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	橋元美沙 田中ひなの
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのヴォーカリストとして活動し、教育指導を行っている。						
授業の学習 内容	リズム、ボリューム、コミュニケーション、曲の構成など、演奏を通して会話を重ねてアンサンブル力を育てるこの教科はバンドアンサンブルなど、コミュニケーションを要する授業に繋がる。本授業を通し、演奏だけでなく全てのコミュニケーションにおいて、相手を尊重することを学んで頂きたい。以上を踏まえ、様々なジャンルの曲を、目標に合わせて選曲していき、学習ポイントを予め定めておくものとする。						
到達目標	ピアノ奏者と2人で会話することに慣れるため、カラオケでは行えない実際の人の演奏で歌う授業を行う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	授業の目的のレクチャー	課題曲を歌詞を見て歌えるように予習
2	6月4日	講義・演習	アイコンタクトの指導	課題曲の練習
3	6月11日	講義・演習	アイコンタクトの指導	課題曲の歌詞を覚えてくる
4	6月18日	講義・演習	アイコンタクトを意識した、歌唱による小テスト	課題曲の練習
5	6月25日	講義・演習	マイキングの指導	課題曲の練習
6	7月2日	講義・演習	マイキングの指導	課題曲の歌詞を覚えてくる
7	7月9日	講義・演習	マイキングを意識した、歌唱による小テスト	課題曲の練習
8	7月16日	講義・演習	ヴォーカルとピアノの音量バランスを意識した歌唱指導	課題曲の練習、内容の振り返り
9	7月30日	講義・演習	ヴォーカルとピアノの音量バランスを意識した歌唱指導	課題曲の練習、内容の振り返り
10	8月20日	講義・演習	ヴォーカルとピアノの音量バランスを意識した歌唱による小テスト	発表会の曲の練習、内容の振り返り
11	8月27日	講義・演習	発表会の曲を演奏、総合的なフィードバック	発表会の曲の練習、内容の振り返り
12	9月3日	講義・演習	模擬発表会	発表会でのMCの準備
13	9月10日	講義・演習	授業内発表会	前期の授業を通して感じたことを800-1000字以内でレポート
14	9月17日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月24日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲の練習、内容の振り返り	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Piano Duo B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	橋元美沙 田中ひなの
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのヴォーカリストとして活動し、教育指導を行っている。						
授業の学習 内容	リズム、ボリューム、コミュニケーション、曲の構成など、演奏を通して会話を重ねてアンサンブル力を育てるこの教科はバンドアンサンブルなど、コミュニケーションを要する授業に繋がる。本授業を通し、演奏だけでなく全てのコミュニケーションにおいて、相手を尊重することを学んで頂きたい。以上を踏まえ、様々なジャンルの曲を、目標に合わせて選曲していき、学習ポイントを予め定めておくものとする。						
到達目標	ピアノ奏者と2人で会話することに慣れるため、カラオケでは行えない実際の人の演奏で歌う授業を行う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	リズムキープを安定させることを意識した歌唱による指導	課題曲の練習、内容の振り返り
2	10月15日	講義・演習	リズムキープを安定させることを意識した歌唱による指導	課題曲の練習、内容の振り返り
3	10月22日	講義・演習	リズムキープを安定させることを、歌唱により小テスト	課題曲の歌詞を覚える、内容の振り返り
4	11月5日	講義・演習	リズムキープを安定させることを、歌唱により小テスト	課題曲の歌詞を覚える、内容の振り返り
5	11月12日	講義・演習	キューでサイズをコントロールする練習を、歌唱を通して指導	課題曲の練習、内容の振り返り
6	11月19日	講義・演習	キューでサイズをコントロールする練習を、歌唱を通して指導	課題曲の練習、内容の振り返り
7	11月26日	講義・演習	キューでサイズをコントロールすることを、歌唱により小テスト	課題曲の歌詞を覚える、内容の振り返り
8	12月3日	講義・演習	アイコンタクトではなく、呼吸や歌い方によってコミュニケーションすることに、歌唱を通してチャレンジする	課題曲の練習、内容の振り返り
9	12月10日	講義・演習	アイコンタクトではなく、呼吸や歌い方によってコミュニケーションすることに、歌唱を通してチャレンジする	課題曲の練習、内容の振り返り
10	12月17日	講義・演習	アイコンタクトではなく、呼吸や歌い方によってのコミュニケーション力を歌唱により小テスト	発表会の曲練習、内容の振り返り
11	1月7日	講義・演習	発表会の曲を演奏、総合的なフィードバック	発表会の曲練習、内容の振り返り
12	1月14日	講義・演習	模擬発表会	発表会でのMCの準備
13	1月21日	講義・演習	授業内発表会	後期の授業を通して感じたことを800-1000字以内でレポート
14	1月28日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲の練習、内容の振り返り	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gi-naゼミ(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	gi-na
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	本校卒業後メジャーデビュー、バンド活動、作詞作曲、現場経験を活かした授業、講師歴8年。						
授業の学習 内容	Vocalistとして必要な基本テクニックや、リズム感、音感、パフォーマンスを含め、人を魅了できるVocalistを総合的に目指す授業。体が楽器だということを忘れずに、メンタルや歌手としてのスキルアップ。 アンサンブルやステージで生かせる技術を習得。						
到達目標	前期で習得した技術、発声基礎を活かし、声の響きを意識し、個性を磨く。オリジナリティーを見つけ、パフォーマンス、Vocalistとしてのマインドも磨いていき、長く活動していけるVocalistを目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	体幹トレーニング、体幹を強くする	ウォーミングアップ
2	5月25日	講義・演習	リズムを感じながらピアノに合わせて基礎発声	ウォーミングアップ
3	6月1日	講義・演習	マイクスタンド、ハンドマイクでのマイキングを習得する	ウォーミングアップ
4	6月8日	講義・演習	課題曲1アナライズ、メロディーを確認	ウォーミングアップ
5	6月15日	講義・演習	課題曲1発声リズムを重視し、自分らしい表現をつける	課題曲の理解、練習
6	6月22日	講義・演習	課題曲1に対するのコーラスワークを取得する	課題曲の理解、練習
7	6月29日	講義・演習	課題曲1パフォーマンス付ステージを意識	課題曲の理解、練習
8	7月6日	講義・演習	課題曲1パフォーマンス付ステージを意識	課題曲の理解、練習
9	7月13日	講義・演習	課題曲2アナライズ、メロディーを確認	課題曲の理解、練習
10	7月20日	講義・演習	課題曲2発声リズムを重視し、自分らしい表現をつける	課題曲の理解、練習
11	7月27日	講義・演習	課題曲2に対するのコーラスワークを取得する	課題曲の理解、練習
12	8月3日	講義・演習	課題曲2パフォーマンス付ステージを意識	課題曲の理解、練習
13	8月17日	講義・演習	課題曲2パフォーマンス付ステージを意識	課題曲の理解、練習
14	8月24日	講義・演習	イベントの実践を通して歌唱力、パフォーマンス、メンタル力を学ぶ	課題曲の理解、練習
15	8月31日	講義・演習	イベントの実践を通して歌唱力、パフォーマンス、メンタル力を学ぶ	課題曲の理解、練習
準備学習 時間外学習			課題曲の予習・復習をし、楽曲を理解する。ヴォーカリストとして重要な身体のウォーミングアップを行う。1日1時間程度。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ノート、筆記用具、iPad。				

科目名	Gi-naゼミ(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 gi-na
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	本校卒業後メジャーデビュー、バンド活動、作詞作曲、現場経験を活かした授業、講師歴8年。					
授業の学習 内容	Vocalistとして必要な基本テクニックや、リズム感、音感、パフォーマンスを含め、人を魅了できるVocalistを総合的に目指す授業。体が楽器だということを忘れずに、メンタルや歌手としてのスキルアップ。 アンサンブルやステージで生かせる技術を習得。					
到達目標	前期で習得した技術、発声基礎を活かし、声の響きを意識し、個性を磨く。オリジナリティーを見つけ、パフォーマンス、Vocalistとしてのマインドも磨いていき、長く活動していけるVocalistを目指す。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベントの実践を通して歌唱力、パフォーマンス、メンタル力を学ぶ。	課題曲の理解、練習
2	10月12日	講義・演習	イベントの実践を通して歌唱力、パフォーマンス、メンタル力を学ぶ。	課題曲の理解、練習
3	10月19日	講義・演習	課題曲3、アコースティックアレンジでの表現、発声のアナライズ	課題曲の理解、練習
4	11月9日	講義・演習	課題曲3、ピアノ伴奏によるアコースティック形態での歌唱力を身につける	課題曲の理解、練習
5	11月16日	講義・演習	課題曲3、ピアノ伴奏によるアコースティック形態での歌唱力を身につける	課題曲の理解、練習
6	11月23日	講義・演習	課題曲3、ピアノ伴奏によるアコースティック形態での歌唱力を身につける	課題曲の理解、練習
7	11月30日	講義・演習	課題曲4、アコースティックアレンジでの表現、発声のアナライズ	課題曲の理解、練習
8	12月7日	講義・演習	課題曲4、ピアノ伴奏によるアコースティック形態での歌唱力を身につける	課題曲の理解、練習
9	12月14日	講義・演習	課題曲4、ピアノ伴奏によるアコースティック形態での歌唱力を身につける	課題曲の理解、練習
10	12月21日	講義・演習	課題曲4、ピアノ伴奏によるアコースティック形態での歌唱力を身につける	課題曲の理解、練習
11	1月18日	講義・演習	アコースティック、エレクトリック曲2曲を連続としたステージパフォーマンス歌唱を身につける。	課題曲の理解、練習
12	1月25日	講義・演習	アコースティック、エレクトリック曲2曲を連続としたステージパフォーマンス歌唱を身につける。	課題曲の理解、練習
13	2月1日	講義・演習	アコースティック、エレクトリック曲2曲を連続としたステージパフォーマンス歌唱を身につける。	課題曲の理解、練習
14	2月8日	講義・演習	アコースティック、エレクトリック曲2曲を連続としたステージパフォーマンス歌唱を身につける。	課題曲の理解、練習
15	2月15日	講義・演習	アコースティック、エレクトリック曲2曲を連続としたステージパフォーマンス歌唱を身につける。	課題曲の理解、練習
準備学習 時間外学習		課題曲の予習・復習をし、楽曲を理解する。ヴォーカリストとして重要な身体のウォーミングアップを行う。1日1時間程度。		
【使用教科書・教材・参考書】				
ノート、筆記用具、iPad。				

科目名	DTM For SSW(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	湯汲 哲也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リカラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなどDTMを用いて幅広く活動している。						
授業の学習 内容	音楽理論を交えながら編曲の手法を教え、DAWを使って色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得する。						
到達目標	色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得してクオリティーの高い音源を作成できることを目標とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	各パートのペロシティーとロケーションの設定方法を学んで ドラムの音色打ち込みをしようになる	学習する楽器の音色を複数聴き比べる
2	5月28日	講義・演習	各パートの音色打ち込みをしようになる ドラムの音色打ち込みをしようになる	学習する楽器の音色を複数聴き比べる
3	6月4日	講義・演習	ペロシティー、デュレーション、ロケーションの設定方法を学んでグループがあるBassを打ち込めるようになる。	学習する楽器の音色を複数聴き比べる
4	6月11日	講義・演習	演奏表現(ハンマリング・プリングオフ、グリッサンド、スライド)のプログラミングを学んでグループがあるBassを打ち込めるようになる。	学習する楽器の音色を複数聴き比べる
5	6月18日	講義・演習	演奏表現(ロード・ストローク、ブラッシング・ミュート、カッティング)のプログラミングを学んでギターのバックイングを打ち込めるようになる。	学習する楽器の音色を複数聴き比べる
6	6月25日	講義・演習	ジャンル別の両手を使ってのバックイングを学んでピアノのバックイングが打ち込めるようになる。	学習する楽器の音色を複数聴き比べる
7	7月2日	講義・演習	各ストリング系楽器(バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス)の調弦および音域の特徴を理解し、打ち込みができるようになる。	学習する楽器の音色を複数聴き比べる
8	7月9日	講義・演習	各ストリング系楽器(バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス)の特徴的なフレーズを学んで、打ち込みができるようになる。	学習する楽器の音色を複数聴き比べる
9	7月16日	講義・演習	ピッチベンド、エクスプレッションを使いながらホーンのリフレーズを学んでホーンのリフレーズを打ち込めるようになる。	学習する楽器の音色を複数聴き比べる
10	7月30日	講義・演習	良い音を録るレコーディング方法を学んでレコーディングができるようになる。	複数のマイクで録音した音源について比較する
11	8月6日	講義・演習	波形編集を学んで録ったオーディオをEDITできるようになる。	録った音に色々なエフェクトを掛けてみる
12	8月20日	講義・演習	EQやCompを使用して音の変化を学んで各楽器の帯域が分かるようになる。	録った音に色々なエフェクトを掛けてみる
13	8月27日	講義・演習	トラックインサートとマスターチャンネルに刺すプラグインを学んで、必要なプラグインか不要なプラグインかが判断できるようになる。	録った音に色々なエフェクトを掛けてみる
14	9月3日	講義・演習	試験	試験対策のための復習
15	9月10日	講義・演習	総復習	前期で学んだことを復習する
準備学習 時間外学習			DAW付属の音源やプラグインを全てチェックしておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	DTM For SSW(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	湯汲 哲也
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	2002年 大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、2003年からレコード会社avexの専属作曲家として、浜崎あゆみ、ももクロ、96猫、などの様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、UUUM所属のYoutuber、としみつ(東海オンエア)、リカラ(アバンティーズ)、JENNI etc.への楽曲提供&プロデュースなどDTMを用いて幅広く活動している。						
授業の学習 内容	音楽理論を交えながら編曲の手法を教え、DAWを使って色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得する。						
到達目標	色々な楽器パートの特徴的なフレーズや表現方法を習得してクオリティーの高い音源を作成できることを目標とする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	ドラムの各パーツの音色のバランスを学んでプリセットを使わずドラムセットを組めるようになる。	学習する楽器の音色をEDITしておく
2	10月15日	講義・演習	ドラムの各パーツの音色のバランスを学んでプリセットを使わずドラムセットを組めるようになる。	学習する楽器の音色をEDITしておく
3	11月5日	講義・演習	演奏表現(ハンマリング・プリングオフ、グリッサンド、スライド)のプログラミングを学んでBassの感情表現を打ち込みでできるようになる。	学習する楽器の音色をEDITしておく
4	11月12日	講義・演習	根音以外の音を使って動きのあるベースを学んで上下の立体感をベースで作れるようになる。	学習する楽器の音色をEDITしておく
5	11月19日	講義・演習	演奏表現(チョーキング、ビブラート、スライドハンマリング・プリングオフ)のプログラミングを学んでギターの感情表現を打ち込みでできるようになる。	学習する楽器の音色をEDITしておく
6	11月26日	講義・演習	エレピのポインティング(オープンポインティング)を学んで少ない音数でも美しい広がりがあるポインティングを奏でられるようになる。	学習する楽器の音色をEDITしておく
7	12月3日	講義・演習	弦楽4重奏を学んでストリングスのフレーズを作れるようになる。	学習する楽器の音色をEDITしておく
8	12月10日	講義・演習	弦楽4重奏を学んでストリングスで裏メロを作れるようになる。	学習する楽器の音色をEDITしておく
9	12月17日	講義・演習	ホーンの奏法(シェイク、アタック・バンド、ホルタメント、タンギング/スラー、フォール・オフ/アップ、ドロップ)を学んでホーンの奏法を打ち込めるようになる。	学習する楽器の音色をEDITしておく
10	1月7日	講義・演習	EQ,コンプ、ディエッサーを用いたボーカル専用処理を学んでボーカルを綺麗に処理する事ができるようになる。	ボーカルに色々なエフェクトをかけてみる
11	1月14日	講義・演習	EQ,コンプ、ディエッサーを用いたボーカル専用処理を学んでボーカルを綺麗に処理する事ができるようになる。	ボーカルに色々なエフェクトをかけてみる
12	1月21日	講義・演習	ボリュームオートメーションを使いグループを学んでグループを感じられるMixができるようになる。	トラックに色々なオートメーションを使ってアレンジをしてみる
13	1月28日	講義・演習	ボリュームオートメーションを使いグループを学んでグループを感じられるMixができるようになる。	トラックに色々なオートメーションを使ってアレンジをしてみる
14	2月11日	講義・演習	試験	試験対策のための復習
15	2月18日	講義・演習	総復習	後期で学んだことを復習する
準備学習 時間外学習			DAW付属の音源やプラグインを全てチェックしておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	作曲&アレンジ(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中山聡
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	作編曲家。提供実績(SPEED Dream AKB48 乃木坂46 けやき坂46 氷川きよし アニメ等 他多数)						
授業の学習 内容	作曲を経験することにより、作曲者の意図や曲を深く理解し、自分の歌に反映させられるよう音楽理論を中心に学習する						
到達目標	コードアナライズ、メロディーアナライズ、コード進行、4リズムのアレンジを学習し、自分の思う通りに作曲ができ、作った曲を音源として聞かせることが出来るようにする						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	1年次の習得レベルをチェック	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
2	5月25日	講義・演習	ダイアトニックコードの機能、two-five、ドミナントモーション、トライトーン、functional motion	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
3	6月1日	講義・演習	セカンダリードミナント、セカンダリードミナントのtwo-five化、substitute chord	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
4	6月8日	講義・演習	同主調からの借用和音とそのメリット	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
5	6月15日	講義・演習	2.3.4週目の内容を踏まえ、既成曲でコードアナライズ、さらに同じコード進行を使ってメロディーを作ってみる	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
6	6月22日	講義・演習	2.3.4週目の内容を踏まえ、既成曲でコードアナライズ、さらに同じコード進行を使ってメロディーを作ってみる	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
7	6月29日	講義・演習	2.3.4週目の内容を踏まえ、既成曲でコードアナライズ、さらに同じコード進行を使ってメロディーを作ってみる	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
8	7月6日	講義・演習	クリシェなどの定型のコード進行の紹介、さらに発展的なアプローチ	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
9	7月13日	講義・演習	テンション、テンションリゾルブ	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
10	7月20日	講義・演習	テンションがmelodyに効果的に使われている具体例	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
11	7月27日	講義・演習	コードにテンションを加えてみる	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
12	8月3日	講義・演習	メロディーアナライズ	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
13	8月17日	講義・演習	メロディーアナライズ	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
準備学習 時間外学習			楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	作曲&アレンジ(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中山聡
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	作編曲家。提供実績(SPEED Dream AKB48 乃木坂46 けやき坂46 氷川きよし アニメ等 他多数)						
授業の学習 内容	作曲を経験することにより、作曲者の意図や曲を深く理解し、自分の歌に反映させられるよう音楽理論を中心に学習する						
到達目標	コードアナライズ、メロディーアナライズ、コード進行、4リズムのアレンジを学習し、自分の思う通りに作曲ができ、作った曲を音源として聞かせることが出来るようにする						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	メロディーを印象に残す、キャッチーにするには？ 既成曲を挙げて説明。	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
2	10月12日	講義・演習	メロディーの反復、平行移動、合わせてベダルノートの説明	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
3	10月19日	講義・演習	4リズムの組み立ての説明、楽器の説明	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
4	11月9日	講義・演習	ドラムアレンジが分かる、具体的なフレーズの説明	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
5	11月16日	講義・演習	ベースアレンジが分かる、具体的なフレーズの説明	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
6	11月23日	講義・演習	ギター、鍵盤のアレンジが分かる、具体的なフレーズの説明	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
7	11月30日	講義・演習	ギター、鍵盤のアレンジが分かる、具体的なフレーズの説明	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
8	11月7日	講義・演習	同じメロディーの4リズムを組み替えて、違いを説明	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
9	11月14日	講義・演習	テンポ感をアレンジでコントロールする	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
10	11月21日	講義・演習	コーラスアレンジについて(字ハモ)	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
11	1月18日	講義・演習	コーラスアレンジについて(ウーアー)	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
12	1月25日	講義・演習	課題の作成(コードとメロ)	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
13	2月1日	講義・演習	課題の作成(4リズム)	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習
準備学習 時間外学習			楽曲制作について各自ワークを行う。授業で学んだことの復習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JazzDance(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	AI
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	様々なアーティストの振り付け指導や、バックダンサーとして活躍。講師歴8年						
授業の学習 内容	JAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。						
到達目標	プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記または実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	授業の進め方の説明。卒業までの目標確認	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
2	5月28日	講義・演習	身体の引き上げの理解し、ターンの練習	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
3	6月4日	講義・演習	連続ターンの練習	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	6月11日	講義・演習	ターンに応用を加える	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	6月18日	講義・演習	ピルエットの説明、練習開始	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	6月25日	講義・演習	ピルエットの回る回数を増やす	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	7月2日	講義・演習	6週まで学んだターンを取り入れたコンビネーション開始	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	7月9日	講義・演習	ターンコンビネーションの習得の練習	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	7月16日	講義・演習	ターンコンビネーションに応用を加える	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	7月30日	講義・演習	ターンコンビネーション応用の習得の練習	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	8月6日	講義・演習	1週目からのまとめの振付け	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	8月20日	講義・演習	試験準備	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	8月27日	講義・演習	定期試験	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	9月3日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでJAZZを観る、知る、触れる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	JazzDance(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	AI
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	様々なアーティストの振り付け指導や、バックダンサーとして活躍。講師歴8年						
授業の学習 内容	JAZZの基礎をマスターする。人前に立つことを意識した身体作り。						
到達目標	プロとして必要なレベルのJAZZの基礎を身に付ける。						
評価方法と基準	筆記または実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
2	10月15日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
3	11月5日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
4	11月12日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
5	11月19日	講義・演習	筋トレによる、身体作りの強化③	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
6	11月26日	講義・演習	学んだ事を取り入れた振付け開始	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
7	12月3日	講義・演習	振付けの踊りこみ	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
8	12月10日	講義・演習	振付けの応用	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
9	12月17日	講義・演習	4週目からの振付けの発表	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
10	1月7日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付け開始	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
11	1月14日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
12	1月21日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
13	1月28日	講義・演習	卒業に向け、JAZZの技を多く入れた振付けの応用踊りこみ②	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
14	2月11日	講義・演習	試験準備	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
15	2月18日	講義・演習	定期試験	ストレッチ・筋トレ・自信がないテクニック練習
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでJAZZを観る、知る、触れる	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Broadway Seminar(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	齋藤早春
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとしてDreams come true、湘南乃風、福原美穂などのレコーディングやコーラスに参加。AuやアクエリアスのCMレコーディングやミュージックフェアで谷村新司、和田アキ子と共演。						
授業の学習 内容	ミュージカルの曲を使い、ダンスや歌、パフォーマンス、心の開放を学ぶ。 クラス内の大小グループで一緒に作品を作り上げる過程でコミュニケーションを学び、 喜びや学びを共有する、体感する。						
到達目標	シンガーにおけるパフォーマンスの重要性を理解し、パフォーマンス力を高める。 物語のストーリーや背景、各曲の心情を理解し心を開放して表現に没頭できるようにする。 コミュニケーション力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	授業内容と目的の説明、ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの予習
2	5月25日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、感情の開放ゲーム	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
3	6月1日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
4	6月8日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、ポエム説明	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
5	6月15日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、ポエム発表	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ/ポエム
6	6月22日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
7	6月29日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、自分のリード曲の ミュージカルを調べ発表	課題曲のストーリーや背景を調べる、感情のリンク
8	7月6日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、自分のリード曲の ポエム発表	曲復習/ポエム
9	7月13日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
10	7月20日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
11	7月27日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲、衣装チェック	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
12	8月3日	講義・演習	ストレッチ、発表会の練習	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
13	8月17日	講義・演習	ストレッチ、衣装を着て発表会の流れで練習	曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			曲、ダンスの復習/ブラッシュアップ	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Broadway Seminar(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	齋藤早春
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICCSのメンバーとしてDreams come true、湘南乃風、福原美穂などのレコーディングやコーラスに参加。AuやアクエリアスのGMIレコーディングやミュージックフェアで谷村新司、和田アキ子と共演。						
授業の学習 内容	ミュージカルの曲を使い、ダンスや歌、パフォーマンス、心の開放を学ぶ。 クラス内の大小グループで一緒に作品を作り上げる過程でコミュニケーションを学び、 喜びや学びを共有する、体感する。						
到達目標	シンガーにおけるパフォーマンスの重要性を理解し、パフォーマンス力を高める。 物語のストーリーや背景、各曲の心情を理解し心を開放して表現に没頭できるようにする。 コミュニケーション力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
2	10月12日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
3	10月19日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
4	11月9日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
5	11月16日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
6	11月23日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、インプロ	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
7	11月30日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、グループ曲発表	課題曲のストーリーや背景を調べる、感情のリンク/ポエム
8	11月7日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲、自分のリード曲の ミュージカル、ポエム発表	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
9	11月14日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
10	11月21日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
11	1月18日	講義・演習	ストレッチ、ダンス、グループ曲、衣装チェック	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
12	1月25日	講義・演習	ストレッチ、発表会の練習	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
13	2月1日	講義・演習	ストレッチ、衣装を着て発表会の流れで練習	曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			曲、ダンスの復習／ブラッシュアップ	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	廣瀬昌明 石戸谷齊 長谷川開
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	廣瀬昌明は数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングや、ポールジャクソンなどと共演。/石戸谷齊はCMやTVなどのスタジオレコーディングを始め、オルケスタ・ラルスに加入、2度の海外ツアーも経験。多数のコンサートサポートも勤める。/長谷川開はTHE SOULMATEのメンバーとして、数々のメジャーアーティストのツアーレコーディングに参加。三浦春馬の専属ボイトレーナーを担当。						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセクションでのアンサンブル						
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	2 of earth(1)	課題曲各パートの予習
2	5月28日	講義・演習	2 of earth(2)	課題曲各パートの予習
3	6月4日	講義・演習	Upper street life(1)	課題曲各パートの予習
4	6月11日	講義・演習	Upper street life(2)	課題曲各パートの予習
5	6月18日	講義・演習	Singing Queen(1)	課題曲各パートの予習
6	6月25日	講義・演習	Singing Queen(2)	課題曲各パートの予習
7	7月2日	講義・演習	Sleep All Day(1)	課題曲各パートの予習
8	7月9日	講義・演習	Sleep All Day(2)	課題曲各パートの予習
9	7月16日	講義・演習	Always Here(1)	課題曲各パートの予習
10	7月30日	講義・演習	Always Here(2)	課題曲各パートの予習
11	8月6日	講義・演習	Cha Gonna(1)	課題曲各パートの予習
12	8月20日	講義・演習	Cha Gonna(2)	課題曲各パートの予習
13	8月27日	講義・演習	前期からのピックアップ	課題曲各パートの予習
14	9月3日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	廣瀬昌明 石戸谷齊 長谷川開
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	廣瀬昌明は数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングや、ポール・ジャクソンなどと共演。/石戸谷齊はCMやTVなどのスタジオレコーディングを始め、オルケスタ・テラリスに加入、2度の海外ツアーも経験。多数のコンサートサポートも勤める。/長谷川開はTHE SOULMATEIGSのメンバーとして、数々のメジャーアーティストのツアーやレコーディングに参加。三浦春馬の専属ボイストレーナーを担当。						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセクションでのアンサンブル						
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
2	10月15日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
3	11月5日	講義・演習	Goin' on(1)	課題曲各パートの予習
4	11月12日	講義・演習	Goin' on(2)	課題曲各パートの予習
5	11月19日	講義・演習	Crazy Lace(1)	課題曲各パートの予習
6	11月26日	講義・演習	Crazy Lace(2)	課題曲各パートの予習
7	12月3日	講義・演習	Still Friend(1)	課題曲各パートの予習
8	12月10日	講義・演習	オーディション	課題曲各パートの予習
9	12月17日	講義・演習	That X'mas(1)	課題曲各パートの予習
10	1月7日	講義・演習	That X'mas(2)	課題曲各パートの予習
11	1月14日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各パートの予習
12	1月21日	講義・演習	family(1)	課題曲各パートの予習
13	1月28日	講義・演習	family(2)	課題曲各パートの予習
14	2月11日	講義・演習	Can't Hide(1)	課題曲各パートの予習
15	2月18日	講義・演習	Can't Hide(2)	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 廣瀬昌明 石戸谷齊 長谷川開
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	廣瀬昌明は数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングや、ポールジャクソンなどと共演。/石戸谷齊はCMやTVなどのスタジオレコーディングを始め、オルケスタ・ラルスに加入、2度の海外ツアーも経験。多数のコンサートサポートも勤める。/長谷川開はTHE SOULMATEのメンバーとして、数々のメジャーアーティストのツアーレコーディングに参加。三浦春馬の専属ボイトレーナーを担当。					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセッションでのアンサンブル					
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	2 of earth(1)	課題曲各パートの予習
2	5月28日	講義・演習	2 of earth(2)	課題曲各パートの予習
3	6月4日	講義・演習	Upper street life(1)	課題曲各パートの予習
4	6月11日	講義・演習	Upper street life(2)	課題曲各パートの予習
5	6月18日	講義・演習	Singing Queen(1)	課題曲各パートの予習
6	6月25日	講義・演習	Singing Queen(2)	課題曲各パートの予習
7	7月2日	講義・演習	Sleep All Day(1)	課題曲各パートの予習
8	7月9日	講義・演習	Sleep All Day(2)	課題曲各パートの予習
9	7月16日	講義・演習	Always Here(1)	課題曲各パートの予習
10	7月30日	講義・演習	Always Here(2)	課題曲各パートの予習
11	8月6日	講義・演習	Cha Gonna(1)	課題曲各パートの予習
12	8月20日	講義・演習	Cha Gonna(2)	課題曲各パートの予習
13	8月27日	講義・演習	前期からのピックアップ	課題曲各パートの予習
14	9月3日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	廣瀬昌明 石戸谷齊 長谷川開
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	廣瀬昌明は数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングや、ポールジャクソンなどと共演。/石戸谷齊はCMやTVなどのスタジオレコーディングを始め、オルケスタ・ラルスに加入、2度の海外ツアーも経験。多数のコンサートサポートも勤める。/長谷川開はTHE SOULMATEIGSのメンバーとして、数々のメジャーアーティストのツアーやレコーディングに参加。三浦春馬の専属ボイトレーナーを担当。						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセクションでのアンサンブル						
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
2	10月15日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
3	11月5日	講義・演習	Goin' on(1)	課題曲各パートの予習
4	11月12日	講義・演習	Goin' on(2)	課題曲各パートの予習
5	11月19日	講義・演習	Crazy Lace(1)	課題曲各パートの予習
6	11月26日	講義・演習	Crazy Lace(2)	課題曲各パートの予習
7	12月3日	講義・演習	Still Friend(1)	課題曲各パートの予習
8	12月10日	講義・演習	オーディション	課題曲各パートの予習
9	12月17日	講義・演習	That X'mas(1)	課題曲各パートの予習
10	1月7日	講義・演習	That X'mas(2)	課題曲各パートの予習
11	1月14日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各パートの予習
12	1月21日	講義・演習	family(1)	課題曲各パートの予習
13	1月28日	講義・演習	family(2)	課題曲各パートの予習
14	2月11日	講義・演習	Can't Hide(1)	課題曲各パートの予習
15	2月18日	講義・演習	Can't Hide(2)	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Disco Band Ensemble A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)マリン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパツアーを実現。B: 松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。潤豊(vo) THE SOULMATEIGSOのメンバーとして日本武道館にて平井堅と共演、King Kds、長瀬剛、水樹奈々など様々なアーティストのバックコーラス、レコーディングを行い、異力歌手のヴォイストレーナーも務めている。					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル					
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	課題曲1 ガイダンス、演習	課題曲各パートアナライズ
2	5月29日	講義・演習	課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。	前週の授業を踏まえ自己練習
3	6月5日	講義・演習	課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ	課題曲各パートアナライズ
4	6月12日	講義・演習	課題曲2 ヴォーカルよっての正しい音量バランス	前週の授業を踏まえ自己練習
5	6月19日	講義・演習	課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる	課題曲各パートアナライズ
6	6月26日	講義・演習	課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	7月3日	講義・演習	課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	7月10日	講義・演習	課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか	前週の授業を踏まえ自己練習
9	7月31日	講義・演習	課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
10	8月21日	講義・演習	課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏	前週の授業を踏まえ自己練習
11	8月28日	講義・演習	課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	8月7日	講義・演習	課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価	前週の授業を踏まえ自己練習
13	9月4日	講義・演習	課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス	課題曲各パートアナライズ
14	9月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月18日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Disco Band Ensemble A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)マリン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパツアーを実現。B: 松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。潤豊(vo) THE SOULMATEのメンバーとして日本武道館にて平井堅と共演、King Kida、長瀬剛、水樹奈々など様々なアーティストのバックコーラス、レコーディングを行い、異力発芽のヴォイストレーナーも務めている。					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル					
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
2	10月16日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
3	10月23日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレーズを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
4	11月6日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	課題曲各パートアナライズ
5	11月13日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	前週の授業を踏まえ自己練習
6	11月20日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
7	11月27日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	前週の授業を踏まえ自己練習
8	12月4日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	課題曲各パートアナライズ
9	12月11日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	前週の授業を踏まえ自己練習
10	12月18日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
11	1月8日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	前週の授業を踏まえ自己練習
12	1月15日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
13	1月22日	講義・演習	課題曲13 総復習	前週の授業を踏まえ自己練習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月12日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Disco Band Ensemble B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)マリン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパツアーを実現。B: 松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。潤豊(vo) THE SOULMATEIGSOのメンバーとして日本武道館にて平井堅と共演、King Kds、長瀬剛、水樹奈々など様々なアーティストのバックコーラス、レコーディングを行い、異力歌手のヴォイストレーナーも務めている。					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル					
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	課題曲1 ガイダンス、演習	課題曲各パートアナライズ
2	5月29日	講義・演習	課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。	前週の授業を踏まえ自己練習
3	6月5日	講義・演習	課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ	課題曲各パートアナライズ
4	6月12日	講義・演習	課題曲2 ヴォーカルよっての正しい音量バランス	前週の授業を踏まえ自己練習
5	6月19日	講義・演習	課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる	課題曲各パートアナライズ
6	6月26日	講義・演習	課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	7月3日	講義・演習	課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	7月10日	講義・演習	課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか	前週の授業を踏まえ自己練習
9	7月31日	講義・演習	課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
10	8月21日	講義・演習	課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏	前週の授業を踏まえ自己練習
11	8月28日	講義・演習	課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	8月7日	講義・演習	課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価	前週の授業を踏まえ自己練習
13	9月4日	講義・演習	課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス	課題曲各パートアナライズ
14	9月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月18日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Disco Band Ensemble B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)マリン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパツアーを実現。B: 松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。潤豊(vo) THE SOULMATEICSのメンバーとして日本武道館にて平井堅と共演、King Kida、長瀬剛、水樹奈々など様々なアーティストのバックコーラス、レコーディングを行い、異力発芽のヴォイストレーナーも務めている。					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル					
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
2	10月16日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
3	10月23日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレーズを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
4	11月6日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	課題曲各パートアナライズ
5	11月13日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	前週の授業を踏まえ自己練習
6	11月20日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
7	11月27日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	前週の授業を踏まえ自己練習
8	12月4日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	課題曲各パートアナライズ
9	12月11日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	前週の授業を踏まえ自己練習
10	12月18日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
11	1月8日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	前週の授業を踏まえ自己練習
12	1月15日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
13	1月22日	講義・演習	課題曲13 総復習	前週の授業を踏まえ自己練習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月12日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Gospel Ensemble (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2	5月25日	講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3	6月1日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4	6月8日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	6月15日	講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6	6月22日	講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7	6月29日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8	7月6日	講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9	7月13日	講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	7月20日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11	7月27日	講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12	8月3日	講義・演習	楽曲復習、ケイティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13	8月17日	講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			楽曲復習、学びの振り返り	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel Ensemble (4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	池末信
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	アメリカを代表するゴスペルアーティストRichard Hartley、グラミー賞3回受賞のDorinda Clark Coleが参画するNYゴスペルフェスティバルへ日本代表ディレクターとして共演、指揮とリードを担当し高い評価を受ける。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じられること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2	10月12日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3	10月19日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4	11月9日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5	11月16日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6	11月23日	講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7	11月30日	講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8	11月7日	講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9	11月14日	講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10	11月21日	講義・演習	課題曲を用いてのライブシミュレーション	楽曲復習、学びの振り返り
11	1月18日	講義・演習	課題曲を用いてのライブシミュレーション	楽曲復習、学びの振り返り
12	1月25日	講義・演習	課題曲を用いてのライブシミュレーション	楽曲復習、学びの振り返り
13	2月1日	講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			楽曲復習、学びの振り返り	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Berkleeゼミ(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	遠藤敬三(B♭)マリン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパツアーを実現。B: 松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。潤豊(vo) THE SOULMATEICSのメンバーとして日本武道館にて平井堅と共演、King K&K、長瀬剛、水樹奈々など様々なアーティストのバックコーラス、レコーディングを行い、異力歌手のヴォイストレーナーも務めている。					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル					
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	課題曲1 ガイダンス、演習	課題曲各パートアナライズ
2	5月29日	講義・演習	課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。	前週の授業を踏まえ自己練習
3	6月5日	講義・演習	課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ	課題曲各パートアナライズ
4	6月12日	講義・演習	課題曲2 ヴォーカルよっての正しい音量バランス	前週の授業を踏まえ自己練習
5	6月19日	講義・演習	課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる	課題曲各パートアナライズ
6	6月26日	講義・演習	課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	7月3日	講義・演習	課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	7月10日	講義・演習	課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか	前週の授業を踏まえ自己練習
9	7月31日	講義・演習	課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
10	8月21日	講義・演習	課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏	前週の授業を踏まえ自己練習
11	8月28日	講義・演習	課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	8月7日	講義・演習	課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価	前週の授業を踏まえ自己練習
13	9月4日	講義・演習	課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス	課題曲各パートアナライズ
14	9月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月18日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Berkleeゼミ(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)マリン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。自己のバンドで海外デビューし、ヨーロッパツアーを実現。B: 松本孝弘と一緒に数多くのレコーディングに参加。潤豊(vo) THE SOULMATEのメンバーとして日本武道館にて平井堅と共演、King Kds、長瀬剛、水樹奈々など様々なアーティストのバックコーラス、レコーディングを行い、異力発芽のヴォイストレーナーも務めている。					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル					
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
2	10月16日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
3	10月23日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレーズングを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
4	11月6日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	課題曲各パートアナライズ
5	11月13日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	前週の授業を踏まえ自己練習
6	11月20日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
7	11月27日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	前週の授業を踏まえ自己練習
8	12月4日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	課題曲各パートアナライズ
9	12月11日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	前週の授業を踏まえ自己練習
10	12月18日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
11	1月8日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	前週の授業を踏まえ自己練習
12	1月15日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
13	1月22日	講義・演習	課題曲13 総復習	前週の授業を踏まえ自己練習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月12日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Group Vocal(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴木 さくら
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	THE SOULMATICOSのメンバーとして様々なレコーディング、イベント等に出演。						
授業の学習 内容	ヴォーカルグループとしての総合力を高め、良いチームワークの相乗効果を生む力を育てる。その為に、声、歌、ハーモニー、ダンス(フォーメーション)、パフォーマンス、マインドを学ぶ。プロとしてのステージを作り上げることを学ぶ。						
到達目標	歌と踊りそれぞれがスキルアップしていること。1曲の完成度を高め、より本番を意識したステージを作り上げられること。歌詞の意味を理解し表現することができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	授業の説明、自己紹介、課題曲1発表	課題曲準備
2	10月16日	講義・演習	課題曲1 歌、ハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
3	10月23日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
4	11月6日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
5	11月13日	講義・演習	クラス内発表、課題曲2 歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
6	11月20日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
7	11月27日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
8	12月4日	講義・演習	クラス内発表、課題曲3 歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
9	12月11日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
10	12月18日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
11	1月8日	講義・演習	クラス内発表、課題曲4 歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
12	1月15日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
13	1月22日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月12日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲の歌詞のアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Group Vocal(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴木 さくら
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	THE SOULMATICOSのメンバーとし様々なレコーディング、イベント等に出演。						
授業の学習 内容	ヴォーカルグループとしての総合力を高め、良いチームワークの相乗効果を生む力を育てる。その為に、声、歌、ハーモニー、ダンス(フォーメーション)、パフォーマンス、マインドを学ぶ。プロとしてのステージを作り上げることを学ぶ。						
到達目標	歌やダンスの総合力はもちろん、お客様を意識したステージを作ることができる。曲の意味を理解し、自分で表現することができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	課題曲5 歌、ハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
2	10月15日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
3	10月22日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
4	11月5日	講義・演習	クラス内発表、課題曲6 歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
5	11月12日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
6	11月19日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
7	11月26日	講義・演習	クラス内発表、課題曲7 歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
8	12月3日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
9	12月10日	講義・演習	出来上がり、リフレクション	クラス内発表に向けて個人練習
10	12月17日	講義・演習	クラス内発表、課題曲8 歌とハーモニー	課題曲の歌詞のアナライズ
11	1月7日	講義・演習	歌とハーモニーの確認、フォーメーション	ハーモニーと振り付け復習
12	1月14日	講義・演習	最終リハ	クラス内発表に向けて個人練習
13	1月21日	講義・演習	クラス内発表会	発表会に向けての練習
14	1月28日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲の歌詞のアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Musician's IT(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	緒形 文
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	ブライダルやイベントでの動画撮影・編集をしながらYouTuberの動画編集なども担当している。						
授業の学習 内容	iMacを使い1年次よりもクオリティの高いコンテンツ制作技術を学ぶ。						
到達目標	Adobe Illustrator , Photoshop , Premiere proの使い方を理解し、自分でコンテンツ制作を行うことができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	管理フォルダの作成 / Adobe Illustratorの使い方	iPad Pro, MacBookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
2	5月26日	講義・演習	YouTubeサムネイルの作り方	iPad Pro, MacBookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
3	6月2日	講義・演習	Adobe Photoshopの使い方 / 切り抜き	iPad Pro, MacBookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
4	6月9日	講義・演習	雑誌風プロフィールシート制作	iPad Pro, MacBookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
5	6月16日	講義・演習	YouTubeヘッダー画像制作	iPad Pro, MacBookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
6	6月23日	講義・演習	Adobe Premiere Proの使い方 / スライドショー	iPad Pro, MacBookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
7	6月30日	講義・演習	Adobe Premiere Proの使い方 / テロップ入れ	iPad Pro, MacBookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
8	7月7日	講義・演習	Adobe Premiere Proの使い方 / 書き出し	iPad Pro, MacBookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
9	7月14日	講義・演習	グループワーク / 動画企画	各グループ毎に動画素材を撮影する
10	7月21日	講義・演習	グループワーク / 編集	各グループ毎にプレゼンの準備を進める
11	7月28日	講義・演習	グループプレゼン発表	iPad Pro, MacBookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
12	8月4日	講義・演習	WIXを使いWEBサイト制作1	iPad Pro, MacBookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
13	8月18日	講義・演習	WIXを使いWEBサイト制作2	iPad Pro, MacBookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
14	8月25日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
15	9月1日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Musician's IT(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	緒形 文
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	ブライダルやイベントでの動画撮影・編集をしながらYouTuberの動画編集なども担当している。						
授業の学習 内容	様々なコンテンツ制作技術を学んできたが、より多くの人に自分の存在を知ってもらいながら、新しいファンを獲得するためにはどうすればいいかを考え、コンテンツ制作だけではなく生配信の活用方法を学びます。						
到達目標	YouTube Liveなどを通し、自身のコンテンツをリアルタイムで配信し集客にいかす事ができる。生配信だけでなく、音源制作に必要なDAWソフトの使い方や設定を理解できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
2	10月13日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
3	10月20日	講義・演習	DAWとは？Pro Toolsの立ち上げ	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
4	11月10日	講義・演習	レコーディング基礎	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
5	11月17日	講義・演習	RECした音声と映像の同期	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
6	11月24日	講義・演習	マルチカム編集の基礎 / 映像の同期	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
7	12月1日	講義・演習	マルチカム編集の基礎 / スイッチング	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
8	12月8日	講義・演習	生配信基礎・モラル	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
9	12月15日	講義・演習	生配信実践	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
10	12月22日	講義・演習	ゲーム実況・配信	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
11	1月12日	講義・演習	アーカイブの編集1	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
12	1月19日	講義・演習	アーカイブの編集2	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
13	1月26日	講義・演習	2年間の動画編集1	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
14	2月9日	講義・演習	2年間の動画編集2	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
15	2月16日	講義・演習	卒業後に向けて / セルフプロデュースシート作成	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Arranging 2(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森谷諭
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	プロミュージシャン科						
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナー・作曲家・アレンジャー。音楽雑誌への寄稿。						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記または実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	オリエンテーション Audio Sampleを使ったトラックメイク	ワークシート
2	5月30日	講義・演習	Pushを使ってMIDIレコーディング	ワークシート
3	6月6日	講義・演習	画面の基本説明及び各種アカウント作成 リズムトレーニング	ワークシート
4	6月13日	講義・演習	リズムパターンの打ち込み方法	ワークシート
5	6月20日	講義・演習	キーとスケールについて	ワークシート
6	6月27日	講義・演習	Pushを使ったベースラインの作り方	ワークシート
7	7月4日	講義・演習	Pushを使ったコード進行の作り方	ワークシート
8	7月11日	講義・演習	Pushを使ったメロディラインの作り方	ワークシート
9	7月18日	講義・演習	Audioのレコーディング方法	ワークシート
10	8月1日	講義・演習	曲の構成について	ワークシート
11	8月8日	講義・演習	サンプリングについて	ワークシート
12	8月22日	講義・演習	Simplerの使い方	ワークシート
13	8月29日	講義・演習	定期試験	ワークシート
14	9月5日	講義・演習	総復習1:前期の授業内容を復習し、楽曲制作の理解力を向上させる	ワークシート
15	9月12日	講義・演習	総復習2:前期の授業内容を復習し、楽曲制作の理解力を向上させる	ワークシート
準備学習 時間外学習			ワークシートを使用して事前に授業内容を把握し、Pushの使用方法を授業外でも練習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				